

(様式第10)

信大病総 第1095号
令和2年

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人信州大学長 濱田 州

信州大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3第1項及び医療法施行規則（昭和23年厚生省令第50号）第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和元年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
氏 名	国立大学法人 信州大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

信州大学医学部附属病院

3 所在の場所

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号	電話 (0263) 35-4600
--------------------------	-------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
②医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1呼吸器内科	2消化器内科	3循環器内科
5神経内科	6血液内科	7内分泌内科
9感染症内科	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	11リウマチ科
診療実績		
呼吸器・感染症・アレルギー内科、脳神経内科、糖尿病・内分泌内科		

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科	(有) · 無		
外科と組み合わせた診療科名			
①呼吸器外科 ⑤血管外科	②消化器外科 ⑥心臓血管外科	③乳腺外科 ⑦内分泌外科	④心臓外科 ⑧小児外科
診療実績			

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること（「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと）。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科 8産科	②小児科 9婦人科	③整形外科 10眼科	④脳神経外科 11耳鼻咽喉科	⑤皮膚科 12放射線科	⑥泌尿器科 13放射線診断科	⑦産婦人科
14放射線治療科	15麻酔科	16救急科				

- (注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	(有) · 無
歯科と組み合わせた診療科名	
1小児歯科	2矯正歯科 ③口腔外科
歯科の診療体制	

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名の番号に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1) ~ (4) 以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科	2 形成外科	3 リハビリテーション科	4 病理診断科
--------	--------	--------------	---------

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
40床	床	床	床	677床	717床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	247人	358人	476.4人	看護補助者	37人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	31人	23人	理学療法士	17人	臨床検査技師	70人
薬剤師	29人	17人	46人	作業療法士	12人	衛生検査技師	0人
保健師 助産師	0人 77人	0人 2人	0人 78.3人	視能訓練士 義肢装具士	8人 0人	その他 あん摩マッサージ指圧師	0人 0人
看護師	722人	12人	729.4人	臨床工学士	20人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	1人	0人	1人	栄養士	0人	その他の技術員	31人
歯科衛生士	2人	3人	5人	歯科技工士	3人	事務職員	167人
管理栄養士	4人	4人	8人	診療放射線技師	40人	その他の職員	26人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	59人	眼科専門医	14人
外科専門医	37人	耳鼻咽喉科専門医	11人
精神科専門医	13人	放射線科専門医	23人
小児科専門医	34人	脳神経外科専門医	9人
皮膚科専門医	13人	整形外科専門医	24人
泌尿器科専門医	10人	麻酔科専門医	21人
産婦人科専門医	13人	救急科専門医	7人
		合 計	288人

(注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名（川真田樹人）任命年月日 令和2年4月1日

平成26年4月1日～平成28年3月31日：医療安全管理室長

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	540.6人	14.1人	554.7人
1日当たり平均外来患者数	1369.2人	68.7人	1437.9人
1日当たり平均調剤数			973.7 剤
必要医師数			137人
必要歯科医師数			2人
必要薬剤師数			19人
必要(准)看護師数			326人

(注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を曆日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要		
集中治療室	645 m ²	鉄筋コンクリート	病床数	14床	心電計 有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置 有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー 有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 357 m ² [移動式の場合] 台数 6 台		病床数	28 床	
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 116 m ² [共用室の場合] 共用する室名 服薬指導室				
化学検査室	508 m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 全自動マイクロプレートEIA分析装置		
細菌検査室	128 m ²	"	(主な設備) Anoxomat Mark II (細菌診断装置)		
病理検査室	232 m ²	"	(主な設備) 凍結組織切片作製装置		
病理理解剖室	145 m ²	"	(主な設備) 写真撮影器具		
研究室	241 m ²	"	(主な設備) なし		
講義室	949 m ²	"	室数 10室	収容定員 404人	
図書室	88 m ²	"	室数 1室	蔵書数 6,500冊	程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	83.7%	逆紹介率	66.1%
算出根拠	A:紹介患者の数 B:他の病院又は診療所に紹介した患者の数 C:救急用自動車によって搬入された患者の数 D:初診の患者の数	12188人 11311人 2116人 17096人	

(注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人 財団慈泉会相 澤病院 病院長	○	医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
高木 洋行	松本市立病院 名誉院長		医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学 経法学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
土屋 恒子			医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法 信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん(扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。)	0人
コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法	0人
S-1内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法 膵臓がん(遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。)	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
CTの普及により、胸部X線では発見不可能な淡く小型の肺病変が増えてきている。X線透視下による気管支鏡検査は困難であり、CT撮影下に気管支鏡生検を行う検査である。			
医療技術名	超音波気管支鏡ガイド下針生検	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要			
気管支鏡と超音波が一体となった内視鏡で気管・気管支周辺の病変に対してリアルタイムに針生検を可能とした手技。			
医療技術名	膀胱に対する体外衝撃波結石破碎術(ESWL)	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要			
慢性膀胱炎で発症することの多い膀胱に対する体外衝撃波を用いて結石を破碎する治療。県内では信州大学医学部附属病院でのみ可能な治療法。			
医療技術名	腎移植(生体および献腎)	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要			
慢性腎不全患者に対する生体および献腎移植の実施。			
医療技術名	エキシマレーザーを用いた心内リード抜去術	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要			
ペースメーカーやICDを植え込んだ後、感染症の合併により植え込んだリードを抜去する必要がある場合がある。これまでリードの抜去に開心術が必要で患者の負担が大であったが、エキシマレーザーを用いることにより開心術を行うことなくリード抜去を実施している。			
医療技術名	血管奇形に対する画像誘導下経皮的硬化療法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要			
皮膚や筋肉、軟部組織における血管奇形に対して、CT等下に病変を穿刺。硬化剤として無水エタノールを注入する治療である。			
医療技術名	生体肝移植術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
末期肝不全患者に対する臓器移植術。			
医療技術名	脳死肝移植術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
末期肝不全患者に対する臓器移植術。			
医療技術名	血液型不適合生体肝移植術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要			
生体肝移植術のうち、血液型が不一致不適合の生体ドナーから提供された肝臓を移植する技術で、免疫抑制剤にリツキシマブを追加し、脾摘を加える。			
医療技術名	悪性胸膜中皮腫に対する胸膜切除/肺剥皮術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要			
これまで悪性胸膜中皮腫に対する外科治療は胸膜肺全摘術であり、壁側胸膜・臓側胸膜とともに片肺全摘を行う非常に高侵襲な手術であった。胸膜切除/肺剥皮術は難易度は高いが、壁側・臓側胸膜切除のみで肺実質を温存する術式であり、侵襲度が胸膜肺全摘より低く、現在、高度な医療施設において徐々に普及しつつある術式である。			

医療技術名	肺癌におけるサルベージ手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
進行肺癌に対する初回治療で、手術適応無しと判断され薬物療法や放射線化学療法が行われた後の経過において、局所再発等に対し外科的切除の適応と判断した症例に対する根治的治療(サルベージ手術)を行った。薬物療法などの進歩に伴い、近年その有用性が報告され始めた手術であるが、初回治療の影響により、局所の癒着や硬化が強く、高難度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下肺葉切除	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要			
Intuitive 社のda Vinci を用いたロボット支援下の肺癌に対する肺葉切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	ロボット支援鏡視下縦隔腫瘍手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要			
Intuitive 社のda Vinci を用いたロボット支援下の縦隔腫瘍(胸腺上皮性腫瘍や縦隔神経原性腫瘍など)に対する切除術。現在保険適用とはなっているが、術者・助手ともにIntuitive社のSertificateが必要であり、高度な手術である。			
医療技術名	小型肺癌に対するRFID技術を用いた術前マーキング法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
術中に蝕知不可能な小型肺病変に対し、現在CTガイド下のフックワイヤーを用いたVATSマーカー留置を施行しているが、空気塞栓による脳梗塞のリスクなどがあるとされる。今回、気管支鏡化にICチップを数カ所留置し、術中にプローブを用いてチップの位置を同定しながら手術を行うRFID(Radiofrequency identification)技術を用いて小型肺癌や転移性肺腫瘍に対して切除を施行した。本技術はこれまで数施設のみ、世界でも(当科で1例目実施時)15例程度のみにしか行われていない技術である。			
医療技術名	がん遺伝子パネル検査に基づくプレシジョンメディシン	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要			
甲状腺癌において、がん遺伝子パネル検査に組織の一部を提出し、遺伝子の変異を確認して適切な治療を選択する。			
医療技術名	CAD/CAM冠への置換	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要			
放射線治療(口腔を含む)を受ける患者の金属補綴物をCAD/CAM冠への置換へ置換することにより、放射線粘膜炎が軽減できる			
医療技術名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術	取扱患者数	86人
当該医療技術の概要			
daVinciシステムを使用した手術			
医療技術名	人工尿道括約筋埋込術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要			
前立腺癌術後の尿失禁に対する新しいdeviceを使用した手術			
医療技術名	運動誘発電位測定	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要			
胸腹部大動脈瘤手術、脊髄・脊椎手術では、術中・術後に脊髄梗塞が生じ、下肢麻痺になることがある。術後の下肢麻痺を防止するために、術中に運動誘発電位を測定し、脊髄運動路の機能を持続的に評価する。			
医療技術名	血管奇形に対する硬化療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要			
リンパ管奇形のみならず、動静脈奇形、静脈奇形にも放射線科と連携して硬化療法を施行している。			

医療技術名	顔面骨骨切り術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 複雑な先天異常の顔面骨異常に対し、術前3D骨模型を用いた計画のもと、骨切り術を施行している。			
医療技術名	リンパ管静脈吻合術	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 リンパ浮腫に対するリンパ管静脈吻合術を保存的療法に加えて施行している。			
医療技術名	自家培養表皮による皮膚移植術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 広範囲熱傷および先天性巨大色素性母斑に対して 自家培養表皮による皮膚移植を行う。			
医療技術名	持続血液浄化療法	取扱患者数	85人
当該医療技術の概要 腎不全を伴う重症患者に対し、丸1日かけて透析療法を行う。			
医療技術名	体外補助循環①	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 心不全を伴う重症患者に対するサポート治療。大動脈バルーンパンピングを用いた治療。			
医療技術名	体外補助循環②	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 心不全、呼吸不全を伴う重症患者に対するサポート治療。PCPS, ECMOを用いた治療。			
医療技術名	一酸化窒素療法	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 肺高血圧を伴う心臓手術後患者に対する治療。			
医療技術名	気管支鏡インターベンション	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 気道狭窄や気道出血などに対して、気管支鏡的に、バルーンや高周波治療(アルゴンプラズマ凝固法(APC)含む)を用いた気道の拡張や、腫瘍切除を行う。また気道ステント留置も行っている。			
医療技術名	超音波気管支鏡下針生検(EBUS-TBNA)	取扱患者数	38人
当該医療技術の概要 気管・気管支周囲リンパ節などの病変に対して、超音波を用いてリアルタイムに、安全で確実な針生検を行うことができる。			
医療技術名	CTガイド下気管支鏡検査	取扱患者数	17人
当該医療技術の概要 CTにて病変、気管支鏡の位置を確認しつつ検査を行うことで、CTで指摘された病変から確実に組織検査を行うことができる。			
医療技術名	超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 超音波内視鏡下に経胃的に嚢胞を穿刺、ドレナージチューブやステントを留置する。			

医療技術名	経口内視鏡的筋層切開術(POEM)	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 食道アカラシアに対する内視鏡を用いて筋層切開を行う新しい治療法。			
医療技術名	消化管腫瘍に対する腹腔鏡内視鏡合同切除(LECS)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 内視鏡のみで切除困難な消化管発生の粘膜下腫瘍や十二指腸腫瘍などに対して腹腔鏡と内視鏡両方を用いて安全に腫瘍を切除できる治療法。			
医療技術名	内視鏡下咽喉頭手術(ELPS)	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 早期の咽頭・喉頭腫瘍に対して、耳鼻科医による喉頭展開下に行う内視鏡的な腫瘍切除術。通常の手術と比較して低侵襲な治療法。			
医療技術名	十二指腸腫瘍に対する浸水下内視鏡的切除(Underwater EMR)	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 早期の十二指腸腫瘍に対して、腸管内浸水状況下に内視鏡的に粘膜切除を行う方法。従来の内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と比較して安全性が非常に高く腫瘍の切除が可能である。			
医療技術名	マイクロアレイ染色体検査	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 マイクロアレイを用いて染色体微細構造の変化を解析し、患者DNAにおけるコピー数の変化を解析する			
医療技術名	結合織疾患の次世代シークエンス解析	取扱患者数	124人
当該医療技術の概要 次世代シークエンサーを用い、結合織疾患(マルファン症候群、エーラース・ダンロス症候群等)患者を対象に、54種の遺伝子を解析している。			
医療技術名	知的障害の次世代シークエンス解析	取扱患者数	27人
当該医療技術の概要 知的障害患者を対象に、次世代シークエンサーを用いて、知的障害関連の80種の遺伝子解析を行っている。			
医療技術名	デスマプレッシン点鼻療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 D4ST欠損を伴うエーラースダンロス症候群患者の巨大皮下血腫に対して、デスマプレッシン点鼻療法を行い、良好な経過を導き出している。			
医療技術名	てんかんの次世代シークエンス解析	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 てんかんの遺伝子解析を行っている			
医療技術名	コレステロール塞栓症に対するLDL吸着療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 コレステロール塞栓症による末梢循環障害の改善を目的とした血液浄化療法である。 本院では当該治療について先進医療の承認を受けている。			

医療技術名	難治性腹水症に対する腹水濾過濃縮再静注法	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 癌腹膜播種や肝硬変などに伴う難治性腹水症に対し、当院では独自の手法による腹水濾過濃縮再静注法(DC-CART)を行っている。この方法により腹水の全量排液、効率の良い蛋白回収率、低い合併症を実現している。			
医療技術名	難治性自己免疫疾患に対する血漿交換療法	取扱患者数	34人
当該医療技術の概要 難治性自己免疫疾患に対し、疾患特性や患者の全身状態を考慮し様々な種類の血漿交換(単純血漿交換、二重膜濾過血漿交換、血漿吸着療法)を選択し行っている。			
医療技術名	重症肝不全に対する大量置換血液ろ過透析療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 重症肝不全に対する体液異常の是正を目的とした大量置換血液ろ過透析療法を行っている。			
医療技術名	炎症性腸疾患に対する顆粒球吸着療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 炎症性腸疾患に対して活性化白血球を除去する顆粒球吸着療法を行っている。			
医療技術名	集中治療における持続血液濾過透析とエンドトキシン吸着療法	取扱患者数	72人
当該医療技術の概要 集中治療室における循環動態の不安定な患者に対して持続血液濾過透析やエンドトキシン吸着療法を行っている。			
医療技術名	腎移植	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 末期腎不全患者に対し、生体および献腎移植を行っている			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髓性筋萎縮症	6	56	ペーチェット病	68
2	筋萎縮性側索硬化症	16	57	特発性拡張型心筋症	73
3	脊髄性筋萎縮症	8	58	肥大型心筋症	22
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	9	60	再生不良性貧血	26
6	パーキンソン病	113	61	自己免疫性溶血性貧血	4
7	大脳皮質基底核変性症	2	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	18
9	神經有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トゥース病	1	65	原発性免疫不全症候群	15
11	重症筋無力症	71	66	IgA腎症	19
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性囊胞腎	24
13	多発性硬化症／視神經脊髄炎	66	68	黄色韌帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髓性多発神経炎／多巣性運動ニューロパシー	29	69	後纖維帶骨化症	48
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	9
16	クロウ・深瀬症候群	3	71	特発性大腿骨頭壊死症	44
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	8
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	79	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	10	74	下垂体性PRL分泌亢進症	5
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	4	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	20	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	29
23	ブリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	69
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合)	3
25	進行性多巣性白質脳症	3	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	0	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	174	83	アジソン病	0
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	57
30	遠位型ミオパシー	1	85	特発性間質性肺炎	63
31	ベスレムミオパシー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	24
32	自己貪食空胞性ミオパシー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	1
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	0	88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	22
34	神経線維腫症	30	89	リンパ脈管筋腫症	5
35	天疱瘡	10	90	網膜色素変性症	20
36	表皮水疱症	1	91	バッド・キアリ症候群	2
37	膿瘍性乾癬(汎発型)	11	92	特発性門脈圧亢進症	1
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性肝硬変	50
39	中毒性表皮壞死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	12	95	自己免疫性肝炎	6
41	巨細胞性動脈炎	4	96	クローン病	76
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	103
43	顯微鏡的多発血管炎	27	98	好酸球性消化管疾患	6
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	8	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	4	101	腸管神経節細胞僅少症	0
47	バージャー病	5	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	234	104	コステロ症候群	1
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	100	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	72	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	45	107	全身型若年性特発性関節炎	4
53	シェーグレン症候群	16	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	15	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数	疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161 家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162 類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	3
113	筋ジストロフィー	12	163 特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164 眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	1	165 肥厚性皮膚骨膜症	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166 弾性線維性仮性黄色腫	1
117	脊髄空洞症	5	167 マルファン症候群	26
118	脊髄髓膜瘤	3	168 エーラス・ダンロス症候群	18
119	アイザックス症候群	0	169 メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170 オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171 ウィルソン病	4
122	脳表ヘモジデリン沈着症	1	172 低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173 VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174 那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175 ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176 コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177 有馬症候群	0
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	0	178 モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	1	179 ウィリアムズ症候群	1
130	先天性無痛無汗症	2	180 ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	1	181 クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182 アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183 ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184 アントレー・ビクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185 コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186 ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187 歌舞伎症候群	1
138	神経細胞移動異常症	0	188 多脾症候群	1
139	先天性大脳白質形成不全症	1	189 無脾症候群	1
140	ドラベ症候群	0	190 鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	1	191 ウエルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192 コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	1	193 プラダード・ウイリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194 ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195 ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196 ヤング・シンプソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197 1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198 4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199 5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	1	200 第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスマッセン脳炎	1	201 アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202 スミス・マギニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203 22q11.2欠失症候群	1
154	徐波睡眠持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	2	204 エマ又エル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205 脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206 脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207 総動脈幹遺残症	1
158	結節性硬化症	4	208 修正大血管転位症	4
159	色素性乾皮症	0	209 完全大血管転位症	3
160	先天性魚鱗癖	1	210 単心室症	1

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	1	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	4	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	3	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	3	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	10	263	脳膜黄色腫症	2
216	両大血管右室起始症	6	264	無βリボタンパク血症	0
217	エプスタイン病	5	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	9
219	ギャロウェイ・モワト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	5	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	2	269	化膿性無菌性関節炎・壞疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	15	270	慢性再発性多発性骨髓炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	271	強直性脊椎炎	12
224	紫斑病性腎炎	4	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	4	274	骨形成不全症	4
227	オスラー病	6	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大靜脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	1
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノナー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球病	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	1	284	ダイアモンド・ブラックファン貧血	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	3	286	遺伝性鉄芽球性貧血	1
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	5
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルング病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	11
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	3
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性脾炎	0
251	尿素サイクル異常症	0	299	囊胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	14
253	先天性葉酸吸收不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	1	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	1
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	1
257	肝型糖原病	0	305	遲発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスクエラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	30

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
307	カナバン病	0	319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	0
308	進行性白質脳症	0	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0
309	進行性ミオクローヌステンかん	0	321	非ケトーシス型高グリシン血症	0
310	先天異常症候群	0	322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0
311	先天性三尖弁狭窄症	0	323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	324	メチルグルタコン酸尿症	0
313	先天性肺静脈狭窄症	0	325	遺伝性自己炎症疾患	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	326	大理石骨病	0
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/LMX1B関連腎症	0	327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	0
316	カルニチン回路異常症	0	328	前眼部形成異常	0
317	三頭酵素欠損症	0	329	無虹彩症	1
318	シトリン欠損症	7	330	先天性気管狭窄症	0

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・オンライン診療料	・後発医薬品使用体制加算2
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・病棟薬剤業務実施加算1、2
・歯科外来診療環境体制加算2	・データ提出加算2(200床以上)
・歯科診療特別対応連携加算	・入退院支援加算1(入院時支援加算含む)
・特定機能病院入院基本料(一般病棟7対1、精神病棟10対1)	・精神疾患診療体制加算
・超急性期脳卒中加算	・精神科急性期医師配置加算
・診療録管理体制加算2	・排尿自立支援加算
・医師事務作業補助体制加算1(40対1)	・地域医療体制確保加算
・急性期看護補助体制加算(25対1・看護補助者5割未満)	・地域歯科診療支援病院入院加算
・看護職員夜間配置加算(21対1配置加算1)	・救命救急入院料2、3
・療養環境加算	・特定集中治療室管理料1
・重症者等療養環境特別加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・無菌治療室管理加算1・2	・新生児特定集中治療室管理料1
・緩和ケア診療加算	・新生児治療回復室入院医療管理料
・精神科身体合併症管理加算	・小児入院医療管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1(感染防止対策地域連携加算含む)	・
・抗菌薬適正使用支援加算	・
・患者サポート体制充実加算	・
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ウイルス疾患指導料	・CAD/CAM冠
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・有床義歯修理及び有床義歯内面適合法の歯科技工加算
・糖尿病合併症管理料	・皮膚悪性腫瘍切除術(悪性黒色腫センチネルリンパ節加算を算定する場合に限る。)
・がん性疼痛緩和指導管理料	・皮膚移植術(死体)
・がん患者指導管理料イ、ロ、ハ、ニ	・組織拡張器による再建手術(一連につき)(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・外来緩和ケア管理料	・処理骨再建加算
・移植後患者指導管理料(臓器移植後、造血幹細胞移植後)	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(同種骨移植(非生体))(同種骨移植(特殊なものに限る。))
・糖尿病透析予防指導管理料	・骨移植術(軟膏移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・小児運動器疾患指導管理料	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・椎間板内酵素注入療法
・婦人科特定疾患治療管理料	・頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・腎代替療法指導管理料	・脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術、脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・院内トリアージ実施料	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・外来放射線照射診療料	・治療的角膜切除術(エキシマレーザーによるもの(角膜ジストロフィー又は帶状角膜変性に係るものに限る。))
・ニコチン依存症管理料	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・療養・就労両立支援指導料(相談支援加算を含む)	・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・がん治療連携計画策定料	・網膜再建術
・外来排尿自立指導料	・人工中耳植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・肝炎インターフェロン治療計画料	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)
・薬剤管理指導料	・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)
・検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・医療機器安全管理料1	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療以外の診療に係るものに限る。)
・医療機器安全管理料2	・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科診療に係るものに限る。)
・医療機器安全管理料(歯科)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳がんセンチネルリンパ節加算1又は乳がんセンチネルリンパ節加算2を算定する場合に限る。)

・精神科退院時共同指導料1	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・精神科退院時共同指導料2	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・総合医療管理加算(歯科疾患管理料)	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術及び胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・歯科治療時医療管理料	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・遠隔モニタリング加算(在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので、内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃・十二指腸穿孔瘻閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎孟)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)及び腎腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・持続血糖測定器(在宅/在院/在職/在勤/在園にて運動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・胸腔鏡下弁形成術及び胸腔鏡下弁置換術
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと運動しない持続血糖測定器を用いる場合)	・経カテーテル大動脈弁置換術
・遺伝学的検査	・不整脈手術(左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)に限る。)
・骨髄微小残存病変変量測定	・磁気ナビゲーション加算
・BRCA1／2遺伝子検査	・経皮的中隔心筋焼灼術
・がんゲノムプロファイリング検査	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・先天性代謝異常症検査	・両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・抗HLA抗体検査(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・植込型除細動器移植術、植込型除細動器交換術及び経静脈電極抜去術
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術
・検体検査管理加算(I)	・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)
・検体検査管理加算(IV)	・補助人工心臓
・国際標準検査管理加算	・植込型補助人工心臓(非拍動流型)
・遺伝カウンセリング加算	・経皮的下肢動脈形成術
・遺伝腫瘍カウンセリング加算	・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・胆管悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・胎児心エコー法	・体外衝撃波胆石破碎術
・ヘッドアップティルト試験	・腹腔鏡下肝切除術
・人工膵臓検査	・生体部分肝移植術
・皮下連続式グルコース測定	・同種死体肝移植術
・神経学的検査	・体外衝撃波膵石破碎術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術、腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術

・全視野精密網膜電図	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・ロービジョン検査判断料	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・コンタクトレンズ検査料1	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・小児食物アレルギー負荷検査	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内服・点滴誘発試験	・同種死体腎移植術
・センチネルリンパ節生検(片側)	・生体腎移植術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・膀胱水圧拡張術
・精密触覚機能検査	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算1	・腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
・画像診断管理加算2	・人工尿道括約筋植込・置換術
・画像診断管理加算3	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・ポジトロン断層撮影、ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
・冠動脈CT撮影加算	・胃瘻造設術(内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)
・外傷全身CT加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術
・心臓MRI撮影加算	・輸血管理料 I
・乳房MRI撮影加算	・貯血式自己血輸血管理体制加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・コーディネート体制充実加算
・頭部MRI撮影加算	・自己生体組織接着剤作成術
・全身MRI撮影加算	・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)及び同種クリオプレシピテート作製術
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・外来化学療法加算1	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・無菌製剤処理料	・歯周組織再生誘導手術
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅰ)
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・麻酔管理料(Ⅱ)
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・放射線治療専任加算
・がん患者リハビリテーション料	・外来放射線治療加算
・歯科口腔リハビリテーション料2	・高エネルギー放射線治療
・リンパ浮腫複合的治療料	・1回線量増加加算
・通院・在宅精神療法(児童思春期精神科専門管理加算)	・強度変調放射線治療(IMRT)

・通院・在宅精神療法(療養生活環境整備指導加算)	・画像誘導放射線治療加算
・精神科作業療法	・体外照射呼吸性移動対策加算
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失调症治療指導管理料に限る。)	・定位放射線治療
・医療保護入院等診療料	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・静脈圧迫処置(慢性静脈不全に対するもの)	・保険医療機関間の連携による病理診断
・エタノールの局所注入(甲状腺に対するもの)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
・エタノールの局所注入(副甲状腺に対するもの)	・保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
・人工腎臓(慢性維持透析を行った場合1)	・デジタル病理画像による病理診断
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・病理診断管理加算2
・透析液水質確保加算	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・慢性維持透析濾過加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・人工肺臓療法	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

(注)1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注)2「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	週1回の検討会…7件 2ヶ月に1回の検討会…2件
剖 檢 の 状 況	剖検症例数 23 例 ／ 剖検率 7.3 %

(注) 「症例検討会の開催頻度」及び「剖検の状況」欄には、前年度の実績を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト遺伝性難聴を切り口とする、聴覚生理の網羅的解析	北尻 真一郎	耳鼻いんこう科	5,460,000	補委 日本学術振興会
先天性側弯症発症におけるAGBL5遺伝子の作用機序解析	中村 幸男	整形外科	0	補委 日本学術振興会
プレガバリンの注腸投与の効果	間宮 敏子	信州がんセンター	0	補委 日本学術振興会
小児脳腫瘍特異的細胞傷害性T細胞にキメラ抗原受容体を応用した新規治療戦略の確立	柳沢 龍	輸血部	0	補委 日本学術振興会
ヒト脾島移植における分離後脾島のβ細胞評価	三田 篤義	集中治療部	0	補委 日本学術振興会
ぐも膜下出血後の早期脳障害における脳細動脈の機能障害の解明と改善	村田 貴弘	脳神経外科	0	補委 日本学術振興会
全身性アミロイドーシスの治療後の長期にわたる心機能変化と予後に与える影響の評価	小山 潤	循環器内科	910,000	補委 日本学術振興会
小児白血病治療を目指したGM-CSF受容体特異的キメラ抗原受容体T細胞の最適化	中野 茂	小児科	1,170,000	補委 日本学術振興会
慢性肉芽腫症における肉芽腫形成の機序の解明と新規治療薬の開発	重村 倫成	小児科	1,170,000	補委 日本学術振興会
造血微小環境に着目した若年性骨髓单球性白血病の新規治療法の開発	坂下 一夫	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
環境因子によるアトピー性皮膚炎発症機構の解明と新規治療の探索	小川 英作	皮膚科	780,000	補委 日本学術振興会
ALPPS手術後肝再生促進因子の同定と機能解析	清水 明	外科(1)	650,000	補委 日本学術振興会
DMD患者iPS細胞由来の心筋細胞を用いた心不全の病態と治療に関する研究	宮崎 大吾	難病診療センター	1,820,000	補委 日本学術振興会

小計 13

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ALアミロイドーシスにおけるプロテアソーム阻害剤感受性決定機構の解明	加藤 修明	内科(3)	650,000	補委
神経発達症の遺伝学的背景の探索	高野 亨子	遺伝子医療研究センター	1,560,000	補委
慢性腎臓病における血清スルファチド異常の臨床的重要性と機序の解明	上條 祐司	血液浄化療法部	1,560,000	補委
周術期の免疫活性と術後痛の関連性に関する研究	長谷川 麻衣子	手術部	1,430,000	補委
分子進化工学的手法を用いたNav1.7阻害薬の開発	石田 高志	麻酔科蘇生科	1,430,000	補委
高い安全性と優れた骨形性能をもつ世界初新型PEEK頸椎スペーサーの開発	伊東 清志	脳神経外科	1,950,000	補委
子宮内膜癌におけるPPP2R1A遺伝子変異の意義の検討	布施谷 千穂	産科婦人科	1,560,000	補委
ゲノム構造変化による感音難聴の発症メカニズムの解明に関する研究	茂木 英明	耳鼻いんこう科	910,000	補委
口腔癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤進展度分類と進展メカニズムの分子細胞生物学的研究	山田 慎一	特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委
代謝メカニズムに基づいた微小癌の検出に関する研究	嶋根 哲	特殊歯科・口腔外科	1,300,000	補委
ヒトCYP2J2活性を強力かつ選択的に阻害する医薬品の探索と抗腫瘍効果の解析	山折 大	薬剤部	2,210,000	補委
定量的肝MRイメージングバイオマーカーによる客観的肝疾患診断アルゴリズムの開発	山田 哲	放射線科	3,120,000	補委
ネオアンチゲンから展開する脾臓癌に対する複合的免疫療法の開発	柳沢 龍	輸血部	1,690,000	補委
新規開発超細径内視鏡と屈曲機能付ガイドシースを用いた末梢肺野小病変の確定診断	安尾 将法	呼吸器・感染症・アレルギー内科	1,300,000	補委
4級アミン局所麻酔薬は末梢痛覚神経だけを選択的に遮断できるか	布施谷 仁志	手術部	260,000	補委
先天性橈尺骨癒合症の候補遺伝子SMPDL3Aの機能解析	中村 幸男	整形外科	1,430,000	補委
人工内耳装用患者の原因遺伝子の網羅的解析と臨床的特徴の解明に関する研究	宮川 麻衣子	耳鼻いんこう科	1,690,000	補委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
脊柱アライメント不良者の動的バランス評価:一般住民対象スクリーニング法の開発	池上 章太	リハビリテーション部	2,340,000	補委 日本学術振興会
早期発症側弯症のモデルD4ST1欠損型エーラスダンロス症候群の臨床的・基礎的検討	上原 将志	整形外科	0	補委 日本学術振興会
下部尿路微小循環障害の実験系確立とTRPチャネルの微小循環に対する役割の検討	皆川 倫範	泌尿器科	520,000	補委 日本学術振興会
家族性地中海熱における発作機序解明と新規治療法の開発～月経との関連を通して～	岸田 大	内科(3)	1,170,000	補委 日本学術振興会
慢性心筋梗塞に対する自家iPS細胞を用いた心筋再生療法の開発	市村 創	外科(2)	650,000	補委 日本学術振興会
膨張黒鉛を足場材に用いた新規骨再生技術の開発	傍島 淳	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
交感神経系による免疫系制御を介した重症患者の新たな治療戦略	杉山 由紀	麻酔蘇生科	1,690,000	補委 日本学術振興会
卵巣癌における糖転移酵素C2GnT1発現と機能の解析	山田 靖	産科婦人科	1,300,000	補委 日本学術振興会
卵巣明細胞癌および婦人科難治癌の原因遺伝子のcDNAライブラリーによる探索	樋口 正太郎	産科婦人科	1,430,000	補委 日本学術振興会
複数の遺伝子変異が関与する遺伝性難聴症例の解析	森 健太郎	耳鼻いんこう科	1,170,000	補委 日本学術振興会
革新的脳生検術「ボーリングバイオプシー法」の開発	荻原 利浩	脳神経外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
KRAS変異大腸癌に有効な治療標的分子の解析	北沢 将人	外科(1)	390,000	補委 日本学術振興会
深層学習を用いた人工知能による超早期爪部メラノーマ診断システムの構築	古賀 弘志	皮膚科	1,950,000	補委 日本学術振興会
難治性腎疾患における骨髓由来間葉系幹細胞を利用した新規治療法の研究開発	松岡 大輔	小児科	1,430,000	補委 日本学術振興会
固形腫瘍に対する遺伝子改変T細胞と腫瘍溶解ウイルスによる複合免疫療法の開発	齋藤 章治	小児科	1,300,000	補委 日本学術振興会
小児重症筋無力症の免疫学的病態の解明～新規免疫抑制療法の開発に向けて～	本林 光雄	小児科	520,000	補委 日本学術振興会
重症虚血肢に対する脂肪幹細胞移植と血管内治療のハイブリッド治療の確立	海老澤 聰一朗	血管内治療学講座	1,950,000	補委 日本学術振興会
Runx3の下流遺伝子群の解析による悪性黒色腫に対する新規治療標的の創出	佐藤 勇樹	皮膚科	1,820,000	補委 日本学術振興会

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
先天性無痛症に関連する変異遺伝子によるナトリウムチャネル機能の解明	清澤 研吉	集中治療部	1,820,000	補委
ストレスシールディングフリーを実現:新規開発材料による次世代型骨伝導インプラント	滝沢 崇	リハビリテーション部	1,430,000	補委
骨肉腫におけるWnt経路の役割および古典的経路と非古典的経路の相互作用の解明	佐々木 純	整形外科	1,820,000	補委
閉経モデルマウス滑膜内腫の網羅的遺伝子発現解析による狭窄性腱鞘炎の病態解明	岩川 紘子	整形外科	1,300,000	補委
Wnt経路を標的とした悪性骨腫瘍の病態解析とスクレロスチンによる治療の臨床応用	岡本 正則	整形外科	1,300,000	補委
四肢の骨格形態・形成に関与するZMAT2遺伝子の機能解析	鈴木 孝子	整形外科	1,820,000	補委
互恵的相互依存に着目した医療系協調学習の分析と改善	清水 郁夫	医療安全管理室	1,040,000	補委
心臓リハビリテーション介入と運動機能改善および医療費削減効果の関係	山本 周平	リハビリテーション部	780,000	補委
簡易的な嚥下スクリーニングのためのセンサシートの改良を目指した筋電図分析	小山 吉人	特殊歯科・口腔外科	1,560,000	補委
がん患者末梢血浮遊DNAの全身性炎症反応への役割の解明	野口 卓郎	信州がんセンター	2,080,000	補委
ダーモスコピー画像を用いた皮膚腫瘍スクリーニングシステムの構築	佐野 佑	皮膚科	1,820,000	補委
TRPV1阻害による心筋障害リバースリモデリングと心室性不整脈耐性の検討	吉江 幸司	不整脈治療学講座	2,340,000	補委
ヒトiPS細胞由来心筋細胞移植後の不整脈抑制方法の開発	小林 秀樹	循環器内科	2,470,000	補委
全身性動脈硬化疾患の発症とその予後における石灰化抑制因子の意義の研究	千田 啓介	循環器内科	3,380,000	補委
近位尿細管特異的PPAR α 欠損マウスを用いたPPAR α の腎保護作用の検討	山田 洋輔	内科(2)	1,300,000	補委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
包括的アプローチによる血管型エーラス・ダンロス症候群の分子遺伝学的発症機序の解明	山口 智美	遺伝子医療研究センター	520,000	補委 日本学術振興会
腹腔鏡手術の痛み:モデルラットによる術中術後痛のメカニズム解明と有効鎮痛法の検討	中村 博之	麻酔科蘇生科	2,080,000	補委 日本学術振興会
思春期特発性側弯症に対する低侵襲矯正固定術のための固定範囲決定手法	大場 悠己	整形外科	1,170,000	補委 日本学術振興会
カーボンナノマテリアル誘導骨芽細胞活性化機序に基づく骨形成促進薬の開発	出田 宏和	整形外科	1,560,000	補委 日本学術振興会
人工関節インプラントにおける晚期感染症の病態解析	鎌仲 貴之	整形外科	1,820,000	補委 日本学術振興会
エーラス・ダンロス症候群における脊椎病変の病態解明・治療法の確立	上原 将志	整形外科	1,430,000	補委 日本学術振興会
OTOA遺伝子変異による難聴の臨床像と発症メカニズムに関する研究	北野 友裕	耳鼻いんこう科	1,820,000	補委 日本学術振興会
光線免疫療法の消化器腫瘍への応用にむけた基礎的検討	長屋 匡信	内科(2)	1,430,000	補委 日本学術振興会
下肢静脈エコー検査時の検査ペッドの違いによる患者・検査者満足度について	小原 美歌	臨床検査部	0	補委 日本学術振興会
JADERを用いた血糖降下薬投与患者の低血糖発現に影響を及ぼす併用薬の解析	村井 健太郎	薬剤部	350,000	補委 日本学術振興会
イフオスファミド脳症と薬剤代謝酵素の遺伝子多型の解析	井出 裕一郎	臨床検査部	430,000	補委 日本学術振興会
LGR5陽性胃癌幹細胞におけるxCTの発現性と臨床病理学的特徴	中嶋 智之	臨床検査部	480,000	補委 日本学術振興会
HPVワクチン接種後に生じた症状に関する診療体制の整備のための研究	池田 修一	難病診療センター	4,970,000	補委 厚生労働省
地域のステークホルダーと連携して一貫型支援を行う信州型医療機器開発拠点	杉原 伸宏	学術研究・産学官連携推進機構・学術研究支援本部	10,909,082	補委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
(医師主導) エストロゲン受容体陽性HER2陰性乳癌に対するS-1術後療法ランダム化比較第Ⅲ相試験(POTENT)	伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	0	補委 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
【委託研究】stageⅢ結腸癌治療切除例に対する術後補助化学療法としてのmFOLFOX6療法またはXELOX療法における5-FU系抗がん剤およびオキサリプラチニの至適投与期間に関するランダム化第Ⅲ相比較臨床試験	宮川 雄輔	消化器外科	0	補助 委託 公益財団法人がん集学的治療研究財団
難治性疾患実床研究事業:既治療の進行・再発非小細胞肺癌に対するドセタキセルとnab-パクタキセルのランダム化比較第Ⅲ相試験(再委託)	小泉 知展	信州がんセンター	0	補助 委託 国立大学法人九州大学
甲状腺未分化癌に対するレンバチニブの有効性及び安全性に関する第2相試験	伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	97,200	補助 委託 公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
トホグリフロジンの安全性および有効性の検討 -前向き観察研究-	駒津 光久	内科(4)	0	補助 委託 公益社団法人日本糖尿病協会
高血圧を伴う左室拡張機能低下を有する心不全症例を対象としたアジルサルタンの左室拡張機能改善効果の探索的検討(略称:J-TASTE trial)	元木 博彦	内科(5)	54,000	補助 委託 国立研究開発法人国立循環器病研究センター
(医師主導)進行悪性黒色腫に対するニボルマブの有効性評価に関する観察研究	古賀 弘志	遺伝子医療研究センター	0	補助 委託 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
(医師主導)MRI-based assessment of the risk factor for hepatocellular carcinoma of chronic hepatitis type C after anti-viral therapy	山田 哲	放射線科	0	補助 委託 国立大学法人山梨大学
(医師主導)分化型甲状腺癌を対象としたレンバニチブの治療効果探索のためのコホート研究	伊藤 研一	乳腺・内分泌外科	0	補助 委託 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
舌再建手術後の嚥下障害発生割合を検討する多施設共同前向き観察研究	柳澤 大輔	形成外科	11,000	補助 委託 一般財団法人ふじのくに医療城下町推進機構
左室収縮性が保持された心不全合併高齢2型糖尿病患者におけるSGLT2阻害薬カナグリフロジンの有効性・安全性に及ぼす影響(研究番号: MT2016-004)	桑原 宏一郎	循環器内科	108,000	補助 委託 公立大学法人奈良県立医科大学
根治切除不能または転移性腎細胞癌に対するNivolumab併用画像誘導3次元集光式超導分割照射法(IGB)による非照射病巣の縮小効果増強の有無を検証する多施設ランダム化第2相比較試験	小岩井 慶一郎	放射線部	64,800	補助 委託 国立大学法人山梨大学
皮膚疾患画像ナショナルデータベースの構築とAI活用診断支援システム(AMED再委託)	奥山 隆平	皮膚科	1,300,000	補助 委託 公益社団法人日本皮膚科学会
小児ウイルス性肝炎の病態の解明(AMED再委託)	中山 佳子	小児科	300,000	補助 委託 地方独立行政法人大阪府立急性期・総合医療センター
電子カルテ情報活用型多施設症例データベースを利用した糖尿病に関する臨床情報収集に関する研究(J-DREAMS)	駒津 光久	内科(4)	300,000	補助 委託 国立研究開発法人国際医療研究センター
IL-12発現型がん治療用ウイルスを用いた悪性黒色腫に対する革新的ウイルス免疫療法開発(橋渡しシーズ)(AMED)	奥山 隆平	皮膚科	76,000,000	補助 委託 国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)
ベッカー型筋ジストロフィーの自然歴調査に基づく予防医学に向けたエビデンスの創出研究(AMED再委託)	宮崎 大吾	難病診療センター	130,000	補助 委託 独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター
未診断疾患イニシアチブ(Initiative on Rare and Undiagnosed Disease(IRUD)):希少未診断疾患に対する診断プログラムの開発に関する研究(AMED再委託)	古庄 知己	遺伝子医療研究センター	10,400,000	補助 委託 国立研究開発法人精神・神経医療研究センター
「若年性優勢遺伝子性アルツハイマー病に関する多元的臨床データ収集と共有化による効率的な病態解明」における遺伝子カウンセリング	関島 良樹	内科(3)	39,140	補助 委託 公立大学法人大阪

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺高血圧症患者レジストリ Japan Pulmonary Hypertension Registry: JAPHR	木村 和広	循環器内科	260,000	補助 委託 学校法人国際医療福祉大学
小児および若年成人のEBウイルス関連血球食性リンパ組織球症に対するリスク別多施設共同第II相臨床試験 (AMED再委託)	柳沢 龍	輸血部	390,000	補助 委託 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
プレクリニカル期におけるアルツハイマー病に対する客観的画像診断・評価法の確立を目指す臨床研究 (AMED再委託)	鷲塚 伸介	精神科	1,151,269	補助 委託 公立大学法人大阪
EGFR遺伝子変異陽性進行非扁平上皮非小細胞肺癌に対するゲフィチニブまたはオシメルチニブ単剤療法とゲフィチニブまたはオシメルチニブにシスプラチナ+ペメトレキセドを途中挿入する治療とのランダム化比較試験 (JCOG1404/WJOG8214L: AGAIN) (AMED再委託)	神田 慎太郎	信州がんセンター	3,900,000	補助 委託 国立研究開発法人国立がん研究センター
医師主導)子宮内膜異型増殖症・子宮体癌妊娠性温存療法に対するメトホルミンの適応拡大にむけた多施設共同医師主導治験 (AMED再委託)	塩沢 丹里	産科婦人科	1,827,800	補助 委託 国立大学法人千葉大学
非侵襲的頭蓋内圧測定モニタの開発・事業化 (AMED再委託)	本郷 一博	脳神経外科	3,846,250	補助 委託 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
病理診断支援のための人工知能(病理診断支援AI)開発と統合的「AI医療画像知」の創出 (AMED再委託)	本田 孝行	臨床検査部	2,500,000	補助 委託 一般社団法人日本病理学会
イメージングデータを用いた皮膚がん 診断ソリューション開発 (AMED再委託)	奥山 隆平	皮膚科	81,487,900	補助 委託 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
Epidermal Growth Factor Receptor activating mutation positive (EGFRm+)進行非小細胞肺癌がん(NSCLC)初回オシメルチニブ治療の効果、安全性及び増悪後の治療に関する観察研究-Reiwa-	立石 一成	呼吸器・感染症・アレルギー内科	0	補助 委託 公益財団法人パブリックヘルスリサーチセンター
がんに対するpiggyBac遺伝子導入新規キメラ抗原受容体(CAR)-T細胞療法開発に関する国際共同研究 (AMED)	齋藤 章治	小児科	2,749,000	補助 委託 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)
末梢血幹細胞移植における採取および処理・保管法の標準化に関する研究	柳沢 龍	輸血部	45,630	補助 委託 独立行政法人国立病院機構まつもと医療センター
エアロゾルデポジション法(AD法)の応用技術の開発	伊東 清志	脳神経外科	0	補助 委託 国立研究開発法人産業技術総合研究所

計 108

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Al-Kzayer Lika'a Fasih Y, Al-Aradi Hanadi Munaf H, Shigemura Tomonari, et al.	小児科	DOCK8 mutation diagnosed using whole-exome sequencing of the dried blood spot- derived DNA: a case report of an Iraqi girl diagnosed in Japan.	BMC Med Genet. 2019 Jun 26;20(1):114. doi: 10.1186/s12881-019- 0837-4.	Case Reports
2	Al-Kzayer Lika'a Fasih Y, Yassin Ahmed K, Salih Khalid Hama, et al.	小児科	A Syrian Refugee in Iraq Diagnosed as a Case of IL12RB1 Deficiency in Japan Using Dried Blood Spots.	Front Immunol. 2019 Jan 25;10:58. doi: 10.3389/fimmu.2019.0005 8. eCollection 2019.	Case Reports
3	Aoki Kaoru, Haniu Hisao, Kim Yoong Ahm, et al.	保健学科	The Use of Electrospun Organic and Carbon Nanofibers in Bone Regeneration.	Nanomaterials (Basel). 2020 Mar 20;10(3):562. doi: 10.3390/nano10030562.	Original Article
4	Aoki Kaoru, Saito Naoto	保健学科	Biocompatibility and Carcinogenicity of Carbon Nanotubes as Biomaterials.	Nanomaterials (Basel). 2020 Feb 4;10(2):264. doi: 10.3390/nano10020264.	Original Article

5	Aoki Kaoru, Saito Naoto	保健学科	Biodegradable Polymers as Drug Delivery Systems for Bone Regeneration.	Pharmaceutics. 2020 Jan 24;12(2):95. doi: 10.3390/pharmaceutics12020095.	Original Article
6	Aomura Daiki, Sonoda Kosuke, Harada Makoto, et al.	腎臓内科	A Case of Acute Kidney Injury in a Patient with Renal Hypouricemia without Intense Exercise.	Case Rep Nephrol Dial. 2020 Mar 30;10(1):26-34. doi: 10.1159/000506673. eCollection 2020 Jan-Apr.	Case Reports
7	Asaka Shiho, Nakajima Tomoyuki, Kugo Kaori, et al.	臨床検査部	Immunophenotype analysis using CLDN18, CDH17, and PAX8 for the subcategorization of endocervical adenocarcinomas <i>in situ</i> : gastric-type, intestinal-type, gastrointestinal-type, and Mullerian-type.	Virchows Arch. 2020 Apr;476(4):499-510. doi: 10.1007/s00428-019-02739-x. Epub 2020 Jan 13.	Original Article
8	Ashida Atsuko, Sakaizawa Kaori, Mikoshiba Asuka, et al.	皮膚科	Circulating Tumour DNA Reflects Tumour Burden Independently of Adverse Events Caused by Systemic Therapies for Melanoma.	Acta Derm Venereol. 2019 Nov 1;99(12):1184-1185. doi: 10.2340/00015555-3279.	Case Reports
9	Ehara Takehito, Kitazawa Masato, Hondo Nao, et al.	消化器外科	Treatment of Rectal Cancer-Induced Disseminated Carcinomatosis of the Bone Marrow with FOLFOX plus Cetuximab and Panitumumab.	Case Rep Oncol. 2020 Feb 17;13(1):145-152. doi: 10.1159/000505323. eCollection 2020 Jan-Apr.	Case Reports

10	Fujimori Naoyuki, Tanaka Naoki, Kimura Takefumi, et al.	消化器内科	Long-term luseogliflozin therapy improves histological activity of non-alcoholic steatohepatitis accompanied by type 2 diabetes mellitus.	Clin J Gastroenterol. 2020 Feb;13(1):83-89. doi: 10.1007/s12328-019-01018-1. Epub 2019 Jul 10.	Original Article
11	Fukushima Kentaro, Yokoyama Takahide, Miwa Shiro, et al.	消化器外科	Impact of age on groin hernia profiles observed during laparoscopic transabdominal preperitoneal hernia repair.	Surg Endosc. 2019 Aug;33(8):2602-2611. doi: 10.1007/s00464-018-6556-7. Epub 2018 Oct 24.	Original Article
12	Fukushima Toshiro, Noguchi Takuro, Kobayashi Takashi, et al.	包括的がん治療学	Late and Rapid Relapse in Mediastinum from Testicular Germ Cell Tumor Stage I Over 13 Years after Surgery.	Case Rep Oncol. 2019 Jun 26;12(2):500-505. doi: 10.1159/000501446. eCollection 2019 May-Aug.	Case Reports
13	Furukawa Satomi, Matsuda Kazuyuki, Sugano Mitsutoshi, et al.	臨床検査部	NLRP3 upregulation in A549 cells co-cultured with THP-1 macrophages under hypoxia via deregulated TGF-beta signaling.	Exp Cell Res. 2019 Oct 1;383(1):111506. doi: 10.1016/j.yexcr.2019.111506. Epub 2019 Jul 19.	Original Article
14	Gibo Takahiko, Sekiguchi Nodoka, Gomi Daisuke, et al.	特殊歯科・口腔外科	Targeted therapy with trastuzumab for epidermal growth factor receptor 2 (HER2)-positive advanced salivary duct carcinoma: A case report.	Mol Clin Oncol. 2019 Aug;11(2):111-115. doi: 10.3892/mco.2019.1875. Epub 2019 Jun 10.	Original Article

15	Gomi Daisuke, Fukushima Toshiro, Kobayashi Takashi, et al.	包括的がん治療学	Fluorine-18-fluorodeoxyglucose-positron emission tomography evaluation in metastatic bone lesions in lung cancer: Possible prediction of pain and skeletal-related events.	Thorac Cancer. 2019 Apr;10(4):980-987. doi: 10.1111/1759-7714.13041. Epub 2019 Mar 18.	Original Article
16	Goto Tetsuya, Furihata Kenji, Hongo Kazuhiro, et al.	脳神経外科	Natural resonance frequency of the brain depends on only intracranial pressure: clinical research.	Sci Rep. 2020 Feb 13;10(1):2526. doi: 10.1038/s41598-020-59376-7.	Original Article
17	Hamanaka Kazutoshi, Takayama Hiroki, Koyama Tsutomu, et al.	呼吸器外科	Interobserver size measurement variability in part-solid lung adenocarcinoma using pre-operative computed tomography.	J Thorac Dis. 2019 Jul;11(7):2924-2931. doi: 10.21037/jtd.2019.07.34.	Original Article
18	Hanaoka Yoshiki, Koyama Jun-Ichi, Yamazaki Daisuke, et al.	脳神経外科	Transradial Approach as the Primary Vascular Access with a 6-Fr Simmons Guiding Sheath for Anterior Circulation Interventions: A Single-Center Case Series of 130 Consecutive Patients.	World Neurosurg. 2020 Jun;138:e597-e606. doi: 10.1016/j.wneu.2020.03.03. Epub 2020 Mar 9.	Original Article
19	Hanaoka Yoshiki, Koyama Jun-Ichi, Ogiwara Toshihiro, et al.	脳神経外科	Usefulness of a Novel Technique to Make Up for a Deficiency in Transradial Neurointervention with a 6Fr Simmons Guiding Sheath: Original Experience with the Subclavian Artery Anchoring Technique.	World Neurosurg. 2019 Nov;131:e362-e370. doi: 10.1016/j.wneu.2019.07.162. Epub 2019 Jul 27.	Original Article

20	Harada Makoto, Fujii Kazuaki, Yamada Yosuke, et al.	腎臓内科	Relationship between serum uric acid level and vascular injury markers in hemodialysis patients.	Int Urol Nephrol. 2020 Aug;52(8):1581-1591. doi: 10.1007/s11255-020-02531-w. Epub 2020 Jun 17.	Original Article
21	Harada Makoto, Ishii Wataru, Masubuchi Takeshi, et al.	腎臓内科	Relationship Between Immunosuppressive Therapy and the Development of Infectious Complications Among Patients with Anti-neutrophil Cytoplasmic Antibody-associated Vasculitis: A Single-center, Retrospective Observational Study.	Cureus. 2019 Sep 16;11(9):e5676. doi: 10.7759/cureus.5676.	Original Article
22	Hardian Ridzky Firmansyah, Goto Tetsuya, Kuwabara Haruki, et al.	脳神経外科	An autopsy case of widespread brain dissemination of glioblastoma unnoticed by magnetic resonance imaging after treatment with bevacizumab.	Surg Neurol Int. 2019 Jul 5;10:137. doi: 10.25259/SNI-183-2019. eCollection 2019.	Case Reports
23	Hayashi Moyuru, Watanabe-Asaka Tomomi, Maejima Daisuke, et al.	メディカル・ヘルスイノベーション	Evaluating Lymph Flow Through the Thoracic Duct Using Urine Osmolarity in Human Participants.	Lymphat Res Biol. 2020 Jan 3. doi: 10.1089/lrb.2019.0054. Online ahead of print.	Original Article
24	Hayashi Wataru, Tanaka Hayato, Taniguchi Yui, et al.	保健学科	Acquisition of mcr-1 and Cocarriage of Virulence Genes in Avian Pathogenic Escherichia coli Isolates from Municipal Wastewater Influent in Japan.	Appl Environ Microbiol. 2019 Oct 30;85(22):e01661-19. doi: 10.1128/AEM.01661-19. Print 2019 Nov 15.	Original Article

25	Higuchi Shotaro, Miyamoto Tsutomu, Kobara Hisanori, et al.	産科婦人科	Trophoblast type-specific expression of senescence markers in the human placenta.	Placenta. 2019 Sep 15;85:56-62. doi: 10.1016/j.placenta.2019.06.377. Epub 2019 Jun 28.	Original Article
26	Hirabayashi Kazutaka, Kakihara Shinji, Tanaka Masaaki, et al.	眼科	Investigation of the therapeutic mechanism of subthreshold micropulse laser irradiation in retina.	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2020 May;258(5):1039-1047. doi: 10.1007/s00417-020-04638-3. Epub 2020 Mar 5.	Original Article
27	Hirano Takao, Hoshiyama Ken, Hirabayashi Kazutaka, et al.	眼科	Vitreoretinal Interface Slab in OCT Angiography for Detecting Diabetic Retinal Neovascularization.	Ophthalmol Retina. 2020 Jun;4(6):588-594. doi: 10.1016/j.oret.2020.01.004. Epub 2020 Jan 10.	Original Article
28	Hirano Takao, Toriyama Yuichi, Iesato Yasuhiro, et al.	眼科	Effect of Leaking Foveal Microaneurysms on the Treatment of Center-Involving Diabetic Macular Edema: A Pilot Study.	Ophthalmic Res. 2019;61(1):10-18. doi: 10.1159/000492005. Epub 2018 Oct 10.	Original Article
29	Honma Hitoshi, Nakayama Yoshiko, Kato Sawako, et al.	小児科	Clinical features of Helicobacter pylori antibody-positive junior high school students in Nagano Prefecture, Japan.	Helicobacter. 2019 Apr;24(2):e12559. doi: 10.1111/hel.12559. Epub 2018 Dec 4.	Original Article

30	Hori Atsushi, Yamaura Makoto, Morita Sunao, et al.	保健学科	Characterization of galactosyl and lactosyl sulfatide species in human serum by MALDI-TOF mass spectrometry.	Ann Clin Biochem. 2019 Sep;56(5):574-582. doi: 10.1177/0004563219849077. Epub 2019 Jun 3.	Original Article
31	Hosomi Kento, Yuzuriha Shunsuke, Nagai Fumio, et al.	形成外科	Additional Relaxing Suturing Using Absorbable Symmetric Barbed Sutures to Help Close Scalp Defects.	Plast Reconstr Surg Glob Open. 2020 Mar 20;8(3):e2658. doi: 10.1097/GOX.0000000000002658. eCollection 2020 Mar.	Original Article
32	Ichikawa Takanori, Shimojima Yasuhiro, Otuki Toshiaki, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Acquired Amegakaryocytic Thrombocytopenia in Adult-onset Still's Disease: Successful Combination Therapy with Tocilizumab and Cyclosporine.	Intern Med. 2019 Dec 1;58(23):3473-3478. doi: 10.2169/internalmedicine.2929-19. Epub 2019 Aug 6.	Case Reports
33	Ichimata Shojiro, Aoyagi Daiju, Takehana Takuo, et al.	臨床検査部	A case of large cell neuroendocrine carcinoma exhibiting rhabdoid features in the esophagogastric junction.	Pathol Int. 2019 Aug;69(8):481-487. doi: 10.1111/pin.12807. Epub 2019 Jun 24.	Case Reports
34	Ichimata Shojiro, Aoyagi Daiju, Yoshinaga Tsuneaki, et al.	臨床検査部	A case of spheroid-type localized lactoferrin amyloidosis in the bronchus.	Pathol Int. 2019 Apr;69(4):235-240. doi: 10.1111/pin.12774. Epub 2019 Feb 19.	Case Reports

35	Ichino Takashi, Tanaka Satoshi, Tanaka Ryusuke, et al.	麻酔科蘇生科	Transcranial motor-evoked potentials of laryngeal muscles for intraoperative neuromonitoring of the vagus nerve during thyroid surgery.	J Anesth. 2019 Apr;33(2):221-229. doi: 10.1007/s00540-018-2601-x. Epub 2019 Jan 2.	Original Article
36	Ida Koichi, Miyamoto Tsutomu, Takatsu Akiko, et al.	産科婦人科	Whole-exome sequencing of lobular endocervical glandular hyperplasia.	Oncol Lett. 2019 Sep;18(3):2592-2597. doi: 10.3892/ol.2019.10549. Epub 2019 Jun 28.	Original Article
37	Ida Koichi, Miyamoto Tsutomu, Higuchi Shotaro, et al.	産科婦人科	Effectiveness of a genetic test panel designed for gynecological cancer: an exploratory study.	Med Oncol. 2019 May 29;36(7):62. doi: 10.1007/s12032-019-1286-9.	Original Article
38	Ida Koichi, Yamanoi Kazuhiro, Asaka Shiho, et al.	産科婦人科	alphaGlcNAc and its catalyst alpha4GnT are diagnostic and prognostic markers in uterine cervical tumor, gastric type.	Sci Rep. 2019 Sep 10;9(1):13043. doi: 10.1038/s41598-019-49376-7.	Original Article
39	Ide Yuichiro, Yanagisawa Ryu, Kubota Noriko, et al.	臨床検査部	Analysis of the clinical characteristics of pediatric patients who experience ifosfamide-induced encephalopathy.	Pediatr Blood Cancer. 2019 Dec;66(12):e27996. doi: 10.1002/pbc.27996. Epub 2019 Sep 18.	Original Article

40	Ideura Michie, Nishio Shin-Ya, Moteki Hideaki, et al.	耳鼻咽喉科	Comprehensive analysis of syndromic hearing loss patients in Japan.	Sci Rep. 2019 Aug 19;9(1):11976. doi: 10.1038/s41598-019-47141-4.	Original Article
41	Imura Masaki, Hayashi Wataru, Arai Eriko, et al.	保健学科	Detection of <i>Acinetobacter pittii</i> ST220 co-producing NDM-1 and OXA-820 carbapenemases from a hospital sink in a non-endemic country of NDM.	J Glob Antimicrob Resist. 2020 Jun;21:353-356. doi: 10.1016/j.jgar.2019.11.013. Epub 2019 Nov 27.	Original Article
42	Ikeda Junji, Shimojima Yasuhiro, Usami Yoko, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Cerebrospinal fluid biomarkers implicated in the pathogenesis of anti-neutrophil cytoplasmic antibody-related hypertrophic pachymeningitis.	Clin Rheumatol. 2020 Jun;39(6):1803-1811. doi: 10.1007/s10067-020-04971-2. Epub 2020 Feb 8.	Original Article
43	Ikeda Shu-Ichi, Hineno Akiyo, Yoshinaga Tsuneaki, et al.	難病診療センター	Sjogren syndrome-related plasma cell disorder and multifocal nodular AL amyloidosis: clinical picture and pathological findings.	Amyloid. 2019 Dec;26(4):225-233. doi: 10.1080/13506129.2019.1660636. Epub 2019 Sep 18.	Case Reports
44	Ikeda Shu-Ichi, Hineno Akiyo, Ichikawa Tohru, et al.	難病診療センター	Tafamidis dramatically improved severe proteinuria in a patient with TTR V30M hereditary ATTR amyloidosis.	Amyloid. 2019 Jun;26(2):99-100. doi: 10.1080/13506129.2019.1600497. Epub 2019 May 15.	Case Reports

45	Ikegami Shota, Takahashi Jun, Uehara Masashi, et al.	整形外科	Physical performance reflects cognitive function, fall risk, and quality of life in community-dwelling older people.	Sci Rep. 2019 Aug 22;9(1):12242. doi: 10.1038/s41598-019-48793-y.	Original Article
46	Ikemura Noriaki, Yamaori Satoshi, Kobayashi Chinatsu, et al.	薬剤部	Inhibitory effects of antihypertensive drugs on human cytochrome P450 2J2 activity: Potent inhibition by azelnidipine and manidipine.	Chem Biol Interact. 2019 Jun 1;306:1-9. doi: 10.1016/j.cbi.2019.04.005 . Epub 2019 Apr 6.	Original Article
47	Ikuyama Yuichi, Wada Yosuke, Tateishi Kazunari, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Successful recovery from critical COVID-19 pneumonia with extracorporeal membrane oxygenation: A case report.	Respir Med Case Rep. 2020 May 31;30:101113. doi: 10.1016/j.rmc.2020.101113. eCollection 2020.	Case Reports
48	Ito Kiyoshi, Nakamura Takuya, Horiuchi Tetsuyoshi, et al.	脳神経外科	Surgical treatment of cervical spondylosis in patients 80 years of age and older—A retrospective observational study.	PLoS One. 2019 Jun 26;14(6):e0217725. doi: 10.1371/journal.pone.0217725. eCollection 2019.	Original Article
49	Iwasa Yoh-Ichiro, Nishio Shin-Ya, Sugaya Akiko, et al.	耳鼻咽喉科	OTOF mutation analysis with massively parallel DNA sequencing in 2,265 Japanese sensorineural hearing loss patients.	PLoS One. 2019 May 16;14(5):e0215932. doi: 10.1371/journal.pone.0215932. eCollection 2019.	Original Article

50	Joshita Satoru, Yamashita Yuki, Sugiura Ayumi, et al.	消化器内科	Clinical utility of FibroScan as a non-invasive diagnostic test for primary biliary cholangitis.	J Gastroenterol Hepatol. 2020 Jul;35(7):1208–1214. doi: 10.1111/jgh.14929. Epub 2019 Dec 10.	Original Article
51	Joshita Satoru, Umemura Takeji, Yamashita Yuki, et al.	消化器内科	Biochemical and plasma lipid responses to pemafibrate in patients with primary biliary cholangitis.	Hepatol Res. 2019 Oct;49(10):1236–1243. doi: 10.1111/hepr.13361. Epub 2019 Jun 14.	Original Article
52	Kaido Takahiro, Yoda Masahiro, Kamijo Tomu, et al.	保健学科	Heterozygous variant fibrinogen gammaA289V (Kanazawa III) was confirmed as hypodysfibrinogenemia by plasma and recombinant fibrinogens.	Int J Lab Hematol. 2020 Apr;42(2):190–197. doi: 10.1111/ijlh.13152. Epub 2020 Jan 20.	Original Article
53	Kakihara Shinji, Hirano Takao, Imai Akira, et al.	眼科	Small gauge vitrectomy for vitreous amyloidosis and subsequent management of secondary glaucoma in patients with hereditary transthyretin amyloidosis.	Sci Rep. 2020 Mar 27;10(1):5574. doi: 10.1038/s41598-020-62559-x.	Original Article
54	Kako Satoko, Joshita Satoru, Matsuo Akemi, et al.	消化器内科	A Case of Adult T-Cell Leukemia/Lymphoma Complicated with Bilateral Chylothorax.	Case Rep Oncol Med. 2019 Feb 17;2019:8357893. doi: 10.1155/2019/8357893. eCollection 2019.	Case Reports

55	Kamijo Akio, Saitoh Yurika, Sakamoto Takeharu, et al.	保健学科	Scaffold protein Lin7 family in membrane skeletal protein complex in mouse seminiferous tubules.	Histochem Cell Biol. 2019 Nov;152(5):333–343. doi: 10.1007/s00418-019-01807-2. Epub 2019 Aug 13.	Original Article
56	Kamijo Tomu, Mukai Saki, Taira Chiaki, et al.	臨床検査部	gammaD318Y fibrinogen shows no fibrin polymerization due to defective "A-a" and "B-b" interactions, whereas that of gammaK321E fibrinogen is nearly normal.	Thromb Res. 2019 Oct;182:150–158. doi: 10.1016/j.thromres.2019.08.017. Epub 2019 Aug 20.	Original Article
57	Kamimura Tomoko	保健学科	Older Adults with Alzheimer's Disease Who Have Used an Automatic Medication Dispenser for 3 or More Years.	Clin Gerontol. 2019 Jan-Feb;42(1):127–133. doi: 10.1080/07317115.2017.1347594. Epub 2017 Oct 13.	Case Reports
58	Kanaya Kohei, Goto Tetsuya, Horiuchi Tetsuyoshi, et al.	脳神経外科	Comparison of Intraoperative Motor Evoked Potentials Monitoring with Direct Cranial Stimulation by Peg-Screw and Transcranial Stimulation by Corkscrew for Supratentorial Surgery.	World Neurosurg. 2019 Jul;127:e1044–e1050. doi: 10.1016/j.wneu.2019.04.039. Epub 2019 Apr 10.	Original Article
59	Kanaya Kohei, Goto Tetsuya, Horiuchi Tetsuyoshi, et al.	脳神経外科	Threshold variation of transcranial motor evoked potential with threshold criterion in frontotemporal craniotomy.	Clin Neurophysiol Pract. 2019 Sep 4;4:184–189. doi: 10.1016/j.cnp.2019.08.001. eCollection 2019.	Original Article

60	Kawakami Toru, Sekiguchi Nodoka, Kobayashi Jun, et al.	血液内科	STAT3 mutations in natural killer cells are associated with cytopenia in patients with chronic lymphoproliferative disorder of natural killer cells.	Int J Hematol. 2019 May;109(5):563–571. doi: 10.1007/s12185-019-02625-x. Epub 2019 Mar 11.	Original Article
61	Kawamata Mikito, Iseki Masako, Kawakami Mamoru, et al.	麻酔科蘇生科	Efficacy and safety of controlled-release oxycodone for the management of moderate-to-severe chronic low back pain in Japan: results of an enriched enrollment randomized withdrawal study followed by an open-label extension study.	J Pain Res. 2019 Jan 17;12:363–375. doi: 10.2147/JPR.S179110. eCollection 2019.	Original Article
62	Kawamata Mikito, Iseki Masako, Kawakami Mamoru, et al.	麻酔科蘇生科	Efficacy And Safety Of Controlled-Release Oxycodone For The Management Of Moderate-To-Severe Chronic Non-Cancer Pain In Japanese Patients: Results From An Open-Label Study.	J Pain Res. 2019 Dec 23;12:3423–3436. doi: 10.2147/JPR.S210502. eCollection 2019.	Original Article
63	Kiniwa Yukiko, Yasuda Jun, Saito Sakae, et al.	皮膚科	Identification of genetic alterations in extramammary Paget disease using whole exome analysis.	J Dermatol Sci. 2019 Apr;94(1):229–235. doi: 10.1016/j.jdermsci.2019.03.006. Epub 2019 Apr 11.	Case Reports
64	Kishida Dai, Yazaki Masahide, Nakamura Akinori, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Late-onset familial Mediterranean fever in Japan.	Mod Rheumatol. 2020 May;30(3):564–567. doi: 10.1080/14397595.2019.1621440. Epub 2019 Jun 25.	Original Article

65	Kitagawa Takashi, Matsui Nobumasa, Nakaizumi Dai, et al.	保健学科	Structured Rehabilitation Program for Multidirectional Shoulder Instability in a Patient with Ehlers-Danlos Syndrome.	Case Rep Orthop. 2020 Feb 1;2020:8507929. doi: 10.1155/2020/8507929. eCollection 2020.	Case Reports
66	Kitagawa Takashi, Matsui Nobumasa, Nakaizumi Dai, et al.	保健学科	Impact of combination of therapeutic exercise and psychological intervention for a patient with first-time traumatic shoulder dislocation.	J Phys Ther Sci. 2019 Oct;31(10):850–854. doi: 10.1589/jpts.31.850. Epub 2019 Oct 19.	Case Reports
67	Kitagawa Takashi, Nakase Junsuke, Takata Yasushi, et al.	保健学科	Relationship between the deep flexion of the knee joint and the dynamics of the infrapatellar fat pad after anterior cruciate ligament reconstruction via ultrasonography.	J Phys Ther Sci. 2019 Jul;31(7):569–572. doi: 10.1589/jpts.31.569. Epub 2019 Jul 9.	Original Article
68	Kitano Tomohiro, Kitajiri Shin-Ichiro, Nishio Shin-Ya, et al.	耳鼻咽喉科	Detailed Clinical Features of Deafness Caused by a Claudin-14 Variant.	Int J Mol Sci. 2019 Sep 16;20(18):4579. doi: 10.3390/ijms20184579.	Original Article
69	Kito Munehisa, Ae Keisuke, Koyanagi Hirotaka, et al.	整形外科	Risk factor for wound complications following wide resection of soft tissue sarcoma in the adductor compartment of the thigh.	Jpn J Clin Oncol. 2019 Oct 1;49(10):932–937. doi: 10.1093/jjco/hyz101.	Original Article

70	Kitoh Ryosuke, Nishio Shin-Ya, Usami Shin-Ichi, et al.	耳鼻咽喉科	Treatment algorithm for idiopathic sudden sensorineural hearing loss based on epidemiologic surveys of a large Japanese cohort.	Acta Otolaryngol. 2020 Jan;140(1):32-39. doi: 10.1080/00016489.2019.1 687936. Epub 2019 Nov 18.	Original Article
71	Kitoh Yoshihiro, Miyati Tosiaki, Tamaru Naomichi, et al.	放射線部	[Examination of Gd- EOB-DTPA Liver Dynamic Contrast- enhanced MRI Using Radial VIBE with k- space Weighted Image Contrast Method].	Nihon Hoshasen Gijutsu Gakkai Zasshi. 2020;76(3):270-277. doi: 10.6009/jjrt.2020_JSRT_76 3.270.	Original Article
72	Kobayashi Hideki, Okada Ayako, Tabata Hiroaki, et al.	循環器内科	Association between reactive hyperemia peripheral arterial tonometry index and atrial fibrillation recurrence after catheter ablation.	Int J Cardiol Heart Vasc. 2019 Jun 20;24:100385. doi: 10.1016/j.ijcha.2019.1003 85. eCollection 2019 Sep.	Original Article
73	Kodaira Minori, Ohashi Nobuhiko, Morita Hiroshi, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Length-dependent truncal Adelta-fiber dysfunction in hereditary transthyretin amyloidosis: An intra-epidermal electrical stimulation study.	Clin Neurophysiol. 2019 Jun;130(6):903-910. doi: 10.1016/j.clinph.2019.03. 007. Epub 2019 Mar 23.	Original Article
74	Komatsu Masamichi, Yamamoto Hiroshi, Shomura Toshitaka, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Twenty-year Follow- up of the First Bilateral Living- donor Lobar Lung Transplantation in Japan.	Intern Med. 2019 Nov 1;58(21):3133-3137. doi: 10.2169/internalmedicine. 3160-19. Epub 2019 Jul 10.	Case Reports

75	Komatsu Masatoshi, Nukada Hitoshi, Hayashi Masanori, et al.	整形外科	Pathological Findings of Hourglass-Like Constriction in Spontaneous Posterior Interosseous Nerve Palsy.	J Hand Surg Am. 2020 Mar 6:S0363- 5023(20)30005-8. doi: 10.1016/j.jhsa.2019.12.01 1. Online ahead of print.	Case Reports
76	Komatsu Toshinori, Motoki Hirohiko, Kuwahara Koichiro, et al.	循環器内科	Author's reply to "Anticoagulation strategy and management of patients with mechanical prosthetic heart valves during pregnancy".	J Cardiol Cases. 2019 Apr 9;20(2):71. doi: 10.1016/j.jccase.2019.03. 002. eCollection 2019 Aug.	Original Article
77	Komori Kazutoshi, Saito Shoji, Araya Masayuki, et al.	小児科	Proton Beam Therapy for Adolescent Primary Central Nervous System Lymphoma With Residual Tumor After Intensive Chemotherapy: A Case Report.	Pract Radiat Oncol. 2019 Sep-Oct;9(5):333-337. doi: 10.1016/j.prro.2019.05.00 5. Epub 2019 May 22.	Case Reports
78	Komori Kazutoshi, Hirabayashi Koichi, Morita Daisuke, et al.	小児科	Ovarian function after allogeneic hematopoietic stem cell transplantation in children and young adults given 8-Gy total body irradiation-based reduced-toxicity myeloablative conditioning.	Pediatr Transplant. 2019 May;23(3):e13372. doi: 10.1111/petr.13372. Epub 2019 Feb 3.	Original Article
79	Kondo Y, Matsushima A, Nagasaki S, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Factors predictive of the presence of a CSF1R mutation in patients with leukoencephalopathy.	Eur J Neurol. 2020 Feb;27(2):369-375. doi: 10.1111/ene.14086. Epub 2019 Oct 15.	Original Article

80	Kosaka Makoto, Yasuo Masanori, Kinota Fumiya, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Probe-based optical fiberscopy for the direct observation of peripheral pulmonary lesions.	Respir Investig. 2019 Sep;57(5):481-489. doi: 10.1016/j.resinv.2019.06.006. Epub 2019 Jul 25.	Original Article
81	Kuraishi Yasuhiro, Muraki Takashi, Ashihara Norihiro, et al.	消化器内科	Validity and safety of endoscopic biliary stenting for biliary stricture associated with IgG4-related pancreatobiliary disease during steroid therapy.	Endosc Int Open. 2019 Nov;7(11):E1410-E1418. doi: 10.1055/a-0966-8494. Epub 2019 Oct 22.	Original Article
82	Kuraishi Yasuhiro, Uehara Takeshi, Kobayashi Yukihiko, et al.	消化器内科	Correlation of clinicopathological features and leucine-rich repeat-containing G-protein-coupled receptor 5 expression in pancreatic ductal adenocarcinoma.	Pathol Res Pract. 2019 Nov;215(11):152623. doi: 10.1016/j.prp.2019.152623. Epub 2019 Sep 5.	Original Article
83	Kuraishi Yasuhiro, Watanabe Takayuki, Muraki Takashi, et al.	消化器内科	Effectiveness of steroid therapy for pancreatic cysts complicating autoimmune pancreatitis and management strategy for cyst-related complications.	Scand J Gastroenterol. 2019 Jun;54(6):773-779. doi: 10.1080/00365521.2019.1623307. Epub 2019 Jun 4.	Original Article
84	Kurihara Shigekazu, Kimura Takefumi, Tanaka Naoki, et al.	消化器内科	Congestive hepatopathy and acute pancreatitis as severe complications of mixed connective tissue disease.	Clin J Gastroenterol. 2020 Jun;13(3):434-442. doi: 10.1007/s12328-019-01059-6. Epub 2019 Nov 19.	Original Article

85	Kuroguchi Daisuke, Takahashi Jun, Uehara Masashi, et al.	整形外科	Ten-Year Results of Reconstruction for Rheumatoid Cervical Spine Lesions and Occurrence Factor of Subaxial Subluxation.	Asian Spine J. 2019 May 14;13(5):730–737. doi: 10.31616/asj.2018.0343. Print 2019 Oct.	Original Article
86	Kurosawa Yoshinaga, Morita Daisuke, Shibasaki Takumi, et al.	小兒科	Dexamethasone palmitate is a feasible option for the treatment of chronic graft-vs-host disease, particularly with macrophage hyperactivation.	Pediatr Transplant. 2020 Feb;24(1):e13627. doi: 10.1111/petr.13627. Epub 2019 Dec 11.	Letter
87	Maekawa Karuna, Nishio Shin-Ya, Abe Satoko, et al.	耳鼻咽喉科	Mutational Spectrum and Clinical Features of Patients with LOXHD1 Variants Identified in an 8074 Hearing Loss Patient Cohort.	Genes (Basel). 2019 Sep 23;10(10):735. doi: 10.3390/genes10100735.	Original Article
88	Mbaduga Tobeichi, Ogiwara Toshihiro, Nagm Alhusain, et al.	脳神経外科	Acromegaly in preadolescence: A case report of a 9-year-old boy with acromegaly.	Surg Neurol Int. 2020 Apr 4;11:61. doi: 10.25259/SNI_474_2019. eCollection 2020.	Case Reports
89	Mikoshiba Asuka, Minagawa Akane, Okuyama Ryuhei, et al.	皮膚科	Eosinophilic pustular folliculitis on the vulva of a patient with cervical cancer.	J Dermatol. 2020 Jun;47(6):e221–e222. doi: 10.1111/1346-8138.15319. Epub 2020 Mar 15.	Letter

90	Mikoshiba Asuka, Ashida Atsuko, Sakaizawa Kaori, et al.	皮膚科	Detecting copy number alterations of oncogenes in cell-free DNA to monitor treatment response in acral and mucosal melanoma.	J Dermatol Sci. 2020 Mar;97(3):172-178. doi: 10.1016/j.jdermsci.2020.01.001. Epub 2020 Jan 15.	Original Article
91	Mikoshiba Yasutomo, Minagawa Akane, Koga Hiroshi, et al.	皮膚科	Clinical and Histopathologic Characteristics of Melanocytic Lesions on the Volar Skin Without Typical Dermoscopic Patterns.	JAMA Dermatol. 2019 May 1;155(5):578-584. doi: 10.1001/jamadermatol.2018.5926.	Original Article
92	Mimura Akira, Yamaori Satoshi, Ikemura Noriaki, et al.	薬剤部	Influence of azole antifungal drugs on blood tacrolimus levels after switching from intravenous tacrolimus to once-daily modified release tacrolimus in patients receiving allogeneic hematopoietic stem cell transplantation.	J Clin Pharm Ther. 2019 Aug;44(4):565-571. doi: 10.1111/jcpt.12834. Epub 2019 Apr 4.	Original Article
93	Mimura Tetsuhiko, Yoshimura Yasuo, Sano Kenji, et al.	整形外科	Leiomyosarcoma of the femur arising from an aneurysmal bone cyst treated seven years before: A case report and literature review.	J Orthop Sci. 2020 Mar 28;S0949-2658(20)30074-9. doi: 10.1016/j.jos.2020.03.003. Online ahead of print.	Case Reports
94	Mimura Tetsuhiko, Ikegami Shota, Oba Hiroki, et al.	整形外科	Factors leading to postoperative pain in adolescent idiopathic scoliosis patients including sagittal alignment and lumbar disc degeneration.	Eur Spine J. 2019 Dec;28(12):3085-3091. doi: 10.1007/s00586-019-06152-5. Epub 2019 Sep 24.	Original Article

95	Minagawa Tomonori, Tezuka Masato, Ogawa Teruyuki, et al.	泌尿器科	Vorticity in lower urinary tract can be assessed and associates with urinary tract morphology in men.	Neuroourol Urodyn. 2020 Jan;39(1):286–294. doi: 10.1002/nau.24193. Epub 2019 Nov 6.	Original Article
96	Minagawa Tomonori, Daimon Hironori, Ogawa Noriyuki, et al.	泌尿器科	Morphological and clinical evaluation of prostatic urethra using modified sonourethrography with retrograde jelly injection.	Low Urin Tract Symptoms. 2019 Apr;11(2):O4–O10. doi: 10.1111/luts.12203. Epub 2017 Nov 29.	Original Article
97	Minagawa Tomonori, Ogawa Teruyuki, Ishizuka Osamu, et al.	泌尿器科	Fluid dynamic assessment of the lower urinary tract: Exploratory research to observe vorticity in the prostatic urethra after transurethral enucleation.	Int J Urol. 2019 Aug;26(8):853–854. doi: 10.1111/iju.14029. Epub 2019 May 30.	Original Article
98	Minagawa Tomonori, Domen Takahisa, Suzuki Toshiro, et al.	泌尿器科	[EFFECTIVENESS OF HOCHUEKKITO (JAPANESE HERBAL MEDICINE) FOR GENERAL FATIGUE AFTER INTRODUCTION OF ENZALUTAMIDE IN THREE CASES OF CASTRATION-RESISTANT PROSTATE CANCER].	Nihon Hinyokika Gakkai Zasshi. 2019;110(2):86–91. doi: 10.5980/jpnjurol.110.86.	Original Article
99	Mita Atusyohi, Kurozumi Masahiro, Ohno Yasunari, et al.	移植外科	Segmental Hepatic Steatosis Due to Portal Vein Stricture After Pediatric Living Donor Liver Transplantation: A Case Report.	Transplant Proc. 2020 Jul-Aug;52(6):1944–1949. doi: 10.1016/j.transproceed.2020.01.149. Epub 2020 May 23.	Original Article

100	Miura Kentaro, Hamanaka Kazutoshi, Uehara Tsuyoshi, et al.	呼吸器外科	Bone morphogenetic protein-7 expression reflects the high proliferative ability and aggressiveness of thymic epithelial tumors.	J Thorac Dis. 2020 Mar;12(3):448-456. doi: 10.21037/jtd.2020.01.14.	Original Article
101	Miyagawa Yusuke, Kitazawa Masato, Kitahara Hiroe, et al.	消化器外科	Three Curative Pancreatectomies for the Metachronous Appearance of Pancreatic Invasive Ductal Adenocarcinoma.	Case Rep Oncol. 2020 Apr 9;13(1):392-397. doi: 10.1159/000506732. eCollection 2020 Jan-Apr.	Case Reports
102	Miyamoto Tsutomu, Shiozawa Tanri,	産科婦人科	Two-sided role of estrogen on endometrial carcinogenesis: stimulator or suppressor?	Gynecol Endocrinol. 2019 May;35(5):370-375. doi: 10.1080/09513590.2018.1549219. Epub 2019 Jan 22.	Original Article
103	Morikawa Manami, Hara Yosuke, Nakazawa Yozo, et al.	小児科	Usefulness of Continuous Glucose Monitoring for Prevention and Early Detection of Hypoglycemia Caused by a Ketogenic Diet and Late Dumping Syndrome.	Pediatr Neurol. 2020 Apr;105:65-66. doi: 10.1016/j.pediatrneurol.2019.12.002. Epub 2019 Dec 26.	Letter
104	Morishita Kota, Yamada Shin-Ichi, Kawakita Akiko, et al.	特殊歯科・口腔外科	Treatment outcomes of adjunctive teriparatide therapy for medication-related osteonecrosis of the jaw (MRONJ): A multicenter retrospective analysis in Japan.	J Orthop Sci. 2020 Feb 25;S0949-2658(20)30018-X. doi: 10.1016/j.jos.2020.01.012. Online ahead of print.	Original Article

105	Morota Haruka, Saito Shoji, Uchida Eriko, et al.	小児科	Delayed methotrexate clearance and acute kidney injury after high-dose methotrexate chemotherapy concurrent with dasatinib in a patient with relapsed Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia: A case report.	Pediatr Blood Cancer. 2020 Apr;67(4):e28173. doi: 10.1002/pbc.28173. Epub 2020 Jan 11.	Letter
106	Moteki Hideaki, Kitoh Ryosuke, Usami Shin-Ichi, et al.	耳鼻咽喉科	The availability of an adhesive bone conduction hearing device: a preliminary report of a single-center experience.	Acta Otolaryngol. 2020 Apr;140(4):319–326. doi: 10.1080/00016489.2019.1708969. Epub 2020 Mar 6.	Original Article
107	Motoki Hirohiko, Nishimura Musashi, Kanai Masafumi, et al.	循環器内科	Impact of inpatient cardiac rehabilitation on Barthel Index score and prognosis in patients with acute decompensated heart failure.	Int J Cardiol. 2019 Oct 15;293:125–130. doi: 10.1016/j.ijcard.2019.06.071. Epub 2019 Jun 28.	Original Article
108	Nagai Takashi, Imamura Tetsuya, Ogawa Teruyuki, et al.	泌尿器科	Nicotine-induced hypoxia in rat urothelium deteriorates bladder storage functions.	Neurourol Urodyn. 2019 Aug;38(6):1560–1570. doi: 10.1002/nau.24050. Epub 2019 Jun 13.	Original Article
109	Nagm Alhusain, Horiuchi Tetsuyoshi, Hongo Kazuhiro, et al.	脳神経外科	Overcoming Daunting Challenges of Clipping of Paracclinoid Carotid-Ophthalmic and Superior Hypophyseal Artery Aneurysms: 2-Dimensional Operative Video.	Oper Neurosurg (Hagerstown). 2019 Dec 1;17(6):E252–E253. doi: 10.1093/ons/opz036.	Original Article

110	Nakajima Yuta, Yuzuriha Shunsuke, Nagai Fumio, et al.	形成外科	A Foxtail-Shaped Vermilion Flap to Reconstruct the Medial Tuberclae in Asymmetric Bilateral Cleft Lip With Contralateral Lesser Form Defect.	Cleft Palate Craniofac J. 2019 Sep;56(8):1052–1057. doi: 10.1177/1055665619841158. Epub 2019 Apr 8.	Original Article
111	Nakamura Takuya, Ogiwara Toshihiro, Goto Tetsuya, et al.	脳神経外科	Clinical Experience of Endoscopic Endonasal Approach in the Innovative, Newly Developed Operating Room "Smart Cyber Operating Theater (SCOT)".	World Neurosurg. 2020 Feb;134:293–296. doi: 10.1016/j.wneu.2019.11.021. Epub 2019 Nov 9.	Case Reports
112	Nakazawa Yozo	小児科	[Chimeric antigen receptor T-cell therapy for hematological malignancies].	Rinsho Ketsueki. 2019;60(9):1351–1357. doi: 10.11406/rinketsu.60.1351.	Original Article
113	Ndukuba Kelechi, Ogiwara Toshihiro, Nakamura Takuya, et al.	脳神経外科	Cyst fenestration and Ommaya reservoir placement in endoscopic transcortical transventricular approach for recurrent suprasellar cystic craniopharyngioma without ventriculomegaly.	J Clin Neurosci. 2020 Feb;72:425–428. doi: 10.1016/j.jocn.2019.12.060. Epub 2020 Jan 8.	Original Article
114	Negishi Tatsuya, Matsumoto Takehisa, Shinagawa Jun, et al.	臨床検査部	A case of cervical subcutaneous abscess due to <i>Bordetella hinzii</i> .	Diagn Microbiol Infect Dis. 2019 Nov;95(3):114865. doi: 10.1016/j.diagmicrobio.2019.07.003. Epub 2019 Jul 13.	Case Reports

115	Nemoto Kazuaki, Sakai Noriko, Matsuda Satoshi, et al.	整形外科	Successful Treatment of Pediatric Posttraumatic Tibiofibular Synostosis by Resection and Peroneal Artery Perforator Adipofascial Flap: A Case Report.	JBJS Case Connect. 2019 Dec;9(4):e0280. doi: 10.2106/JBJS.CC.18.00280.	Original Article
116	Nemoto Kazuaki, Okamoto Masanori, Kito Munehisa, et al.	整形外科	Combined treatment using Mohs' paste and neoadjuvant chemotherapy for giant gluteal soft tissue sarcoma with malignant fungating wound: a case report.	J Surg Case Rep. 2019 May 9;2019(5):rjz137. doi: 10.1093/jscr/rjz137. eCollection 2019 May.	Case Reports
117	Nihei Tatsuya, Kiniwa Yukiko, Mikoshiba Yasutomo, et al.	皮膚科	Improvement of porphyria cutanea tarda following treatment of hepatitis C virus by direct-acting antivirals: A case report.	J Dermatol. 2019 May;46(5):e149-e151. doi: 10.1111/1346-8138.14716. Epub 2018 Dec 3.	Case Reports
118	Nishikawara Mayuka, Kawakami Toru, Sakai Hitoshi, et al.	血液内科	Magnetic Resonance Imaging-negative, Rituximab-resistant Neurolymphomatosis as a Paradoxical Presentation of Relapsed Primary Adrenal Lymphoma.	Intern Med. 2020 Jun 1;59(11):1437-1443. doi: 10.2169/internalmedicine.4085-19. Epub 2020 Mar 5.	Original Article
119	Nishimaki Fumihiro, Yamada Shin-Ichi, Kawamoto Makiko, et al.	特殊歯科・口腔外科	Relationship Between the Quantity of Oral Candida and Systemic Condition/Diseases of the Host: Oral Candida Increases with Advancing Age and Anemia.	Mycopathologia. 2019 Apr;184(2):251-260. doi: 10.1007/s11046-019-00326-x. Epub 2019 Mar 1.	Original Article

120	Nitta Kenichi, Okamoto Kazufumi, Imamura Hiroshi, et al.	急救科	A comprehensive protocol for ventilator weaning and extubation: a prospective observational study.	J Intensive Care. 2019 Nov 6;7:50. doi: 10.1186/s40560-019-0402-4. eCollection 2019.	Original Article
121	Nojima Ippei, Oliviero Antonio, Mima Tatsuya, et al.	保健学科	Transcranial static magnetic stimulation from bench to bedside and beyond.	Neurosci Res. 2019 Dec 26:S0168-0102(19)30643-1. doi: 10.1016/j.neures.2019.12.005. Online ahead of print.	Original Article
122	Oba Hiroki, Takahashi Jun, Kobayashi Sho, et al.	整形外科	Upper instrumented vertebra to the right of the lowest instrumented vertebra as a predictor of an increase in the main thoracic curve after selective posterior fusion for the thoracolumbar/lumbar curve in Lenke type 5C adolescent idiopathic scoliosis: multicenter study on the relationship between fusion area and surgical outcome.	J Neurosurg Spine. 2019 Aug 23:1-8. doi: 10.3171/2019.5.SPINE181469. Online ahead of print.	Original Article
123	Oba Takaaki, Maeno Kazuma, Takekoshi Daiya, et al.	乳腺・内分泌外科	Neoadjuvant chemotherapy-induced decrease of prognostic nutrition index predicts poor prognosis in patients with breast cancer.	BMC Cancer. 2020 Feb 27;20(1):160. doi: 10.1186/s12885-020-6647-4.	Original Article

124	Ogasawara Souya, Uehara Takeshi, Nakajima Tomoyuki, et al.	臨床検査部	Correlation of Clinicopathological Features and LGR5 Expression in Triple-Negative Breast Cancer.	Ann Diagn Pathol. 2020 Mar 3;46:151491. doi: 10.1016/j.anndiagpath.2020.151491. Online ahead of print.	Original Article
125	Ogawa Yuka, Nakamura Katsuya, Ezawa Naoki, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	A novel CACNA1A nonsense variant in a patient presenting with paroxysmal exertion-induced dyskinesia.	J Neurol Sci. 2019 Apr 15;399:214–216. doi: 10.1016/j.jns.2019.02.040. Epub 2019 Mar 1.	Case Reports
126	Ogiwara Toshihiro, Miyaoka Yoshinari, Nakamura Takuya, et al.	脳神経外科	Endoscopic Endonasal Odontoidectomy in the Hybrid Operating Room.	World Neurosurg. 2019 Nov;131:137–140. doi: 10.1016/j.wneu.2019.07.197. Epub 2019 Aug 2.	Case Reports
127	Ogiwara Toshihiro, Nagm Alhusain, Hasegawa Takatoshi, et al.	脳神経外科	Pitfalls of skull base reconstruction in endoscopic endonasal approach.	Neurosurg Rev. 2019 Sep;42(3):683–689. doi: 10.1007/s10143-018-1006-5. Epub 2018 Jul 7.	Case Reports
128	Ogiwara Toshihiro, Nagm Alhusain, Nakamura Takuya, et al.	脳神経外科	Significance and Indications of Surgery for Asymptomatic Nonfunctioning Pituitary Adenomas.	World Neurosurg. 2019 Aug;128:e752–e759. doi: 10.1016/j.wneu.2019.04.250. Epub 2019 May 8.	Original Article

129	Ohashi Nobuhiko, Nonami Jin, Kodaira Minori, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Taste disorder in facial onset sensory and motor neuronopathy: a case report.	BMC Neurol. 2020 Feb 29;20(1):71. doi: 10.1186/s12883-020- 01639-x.	Case Reports
130	Ohira Satoshi, Yamanaka Sakura, Asaka Ryoichi, et al.	産科婦人科	Sawtooth fetal heart rate pattern associated with a favorable neurological outcome in an infant: a case report.	J Med Case Rep. 2019 Jul 25;13(1):226. doi: 10.1186/s13256-019- 2170-0.	Case Reports
131	Ohnata Hideki, Nakazawa Hiromi, Hayashi Morimichi, et al.	創薬科学	Skeletal muscle cells derived from mouse skin cultures.	Biochem Biophys Res Commun. 2020 Jul 23;528(2):398-403. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.12.0 67. Epub 2020 Jan 8.	Original Article
132	Oka Shin-Ichiro, Day Timothy F, Nishio Shin-Ya, et al.	耳鼻咽喉科	Clinical Characteristics and In Vitro Analysis of MYO6 Variants Causing Late-Onset Progressive Hearing Loss.	Genes (Basel). 2020 Mar 4;11(3):273. doi: 10.3390/genes11030273.	Original Article
133	Okada Ayako, Shoin Wataru, Shoda Morio, et al.	循環器内科	Defibrillation failure with short ICD charge time: Internal short circuit of a Durata lead.	J Cardiol Cases. 2019 Oct 31;21(2):59-62. doi: 10.1016/j.jccase.2019.10. 002. eCollection 2020 Feb.	Case Reports

134	Okano Takahiro, Okada Ayako, Tabata Hiroaki, et al.	循環器内科	Wire perforation causing cardiopulmonary arrest during radiofrequency hot balloon ablation for pulmonary vein isolation.	J Cardiol Cases. 2019 Feb 15;19(5):169–172. doi: 10.1016/j.jccase.2019.01. 001. eCollection 2019 May.	Case Reports
135	Okumura Taiki, Hashimoto Koji, Aomura Daiki, et al.	腎臓内科	Thrombotic Thrombocytopenic Purpura Treated with Rituximab Associated with Primary Sjogren's Syndrome and Primary Hypothyroidism.	Intern Med. 2020 Mar 1;59(5):715–719. doi: 10.2169/internalmedicine.3722–19. Epub 2019 Nov 8.	Original Article
136	Okumura Taiki, Takayama Shohei, Nishio Shin-Ichi, et al.	腎臓内科	ACTH-producing thymic neuroendocrine tumor initially presenting as psychosis: A case report and literature review.	Thorac Cancer. 2019 Jul;10(7):1648–1653. doi: 10.1111/1759– 7714.13099. Epub 2019 Jun 11.	Case Reports
137	Okura Eri, Saito Shoji, Natsume Takenori, et al.	小児科	Multiple heterogeneous bone invasions of B lymphoblastic lymphoma with the TCF3/PBX1 fusion gene: a case report.	Int J Hematol. 2020 Feb;111(2):163–165. doi: 10.1007/s12185-019- 02794-9. Epub 2019 Dec 11.	Letter
138	Omodaka Toshikazu, Kiyohara Yoshio, Uematsu Takayoshi, et al.	皮膚科	Preoperative ultrasound evaluation of lymph nodes for extramammary Paget's disease in the genital area.	J Dermatol. 2019 Apr;46(4):361–363. doi: 10.1111/1346– 8138.14796. Epub 2019 Jan 30.	Original Article

139	Oosawa Ryuji, Iwasaki Risa, Suzuki Tomotaka, et al.	リハビリテーション部	Neurophysiological Analysis of Intermanual Transfer in Motor Learning.	Front Hum Neurosci. 2019 Apr 18;13:135. doi: 10.3389/fnhum.2019.00135. eCollection 2019.	Original Article
140	Oyake Kazuaki, Suzuki Makoto, Otaka Yohei, et al.	保健学科	Motivational Strategies for Stroke Rehabilitation: A Descriptive Cross-Sectional Study.	Front Neurol. 2020 Jun 10;11:553. doi: 10.3389/fneur.2020.00553. eCollection 2020.	Original Article
141	Oyake Kazuaki, Baba Yasuto, Ito Nao, et al.	保健学科	Cardiorespiratory factors related to the increase in oxygen consumption during exercise in individuals with stroke.	PLoS One. 2019 Oct 9;14(10):e0217453. doi: 10.1371/journal.pone.0217453. eCollection 2019.	Original Article
142	Ozawa Makiko, Fukushima Toshiro, Noguchi Takuro, et al.	内科学第二	Intra-oesophageal invasion of thymoma.	Respirol Case Rep. 2019 Sep 5;7(8):e00485. doi: 10.1002/rcr2.485. eCollection 2019 Nov.	Original Article
143	Ozawa Yoko, Yamamoto Hiroshi, Yasuo Masanori, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	A comparison of the features of fluorine-18 fluorodeoxyglucose-positron emission tomography (FDG-PET) between IgG4-related disease with bilateral hilar lymphadenopathy and sarcoidosis.	Nagoya J Med Sci. 2020 Feb;82(1):101–111. doi: 10.18999/nagjms.82.1.101	Original Article

144	Sado Tomomitsu, Nakayama Yoshiko, Kato Sawako, et al.	小兒科	Extremely young case of small bowel intussusception due to Peutz-Jeghers syndrome with nonsense mutation of STK11.	Clin J Gastroenterol. 2019 Oct;12(5):429-433. doi: 10.1007/s12328-019- 00964-0. Epub 2019 Mar 19.	Case Reports
145	Saida Toshiaki	皮膚科	[Melanoma and Non- Melanoma Skin Cancers].	Gan To Kagaku Ryoho. 2019 Apr;46(4):635-636.	Original Article
146	Saida Toshiaki	皮膚科	[IV.What Is Dysplastic Nevus ?— Problems of Its Definition in the WHO Blue Book 2018].	Gan To Kagaku Ryoho. 2019 Apr;46(4):650-654.	Original Article
147	Saimon Yoshiki, Goh Ah-Cheng, Momose Kimito, et al.	保健学科	Correlation between radiographic sagittal alignment, range of motion, muscle strength, and quality of life in adults with spinal deformities.	J Phys Ther Sci. 2020 Feb;32(2):140-147. doi: 10.1589/jpts.32.140. Epub 2020 Feb 14.	Original Article
148	Saito Shoji, Taira Chiaki, Matsuda Kazuyuki, et al.	小兒科	Complete measurable residual disease response after combination chemotherapy with AML-type and ALL- type regimens in pediatric B/myeloid acute bilineal leukemia.	Leuk Lymphoma. 2020 Apr;61(4):967-970. doi: 10.1080/10428194.2019.1 697813. Epub 2019 Dec 6.	Letter

149	Saitoh Yurika, Kamijo Akio, Yamauchi Junji, et al.	保健学科	The membrane palmitoylated protein, MPP6, is involved in myelin formation in the mouse peripheral nervous system.	Histochem Cell Biol. 2019 May;151(5):385-394. doi: 10.1007/s00418-018-1745-y. Epub 2018 Oct 24.	Original Article
150	Sakaguchi Noriko, Shimojima Yasuhiro, Ushiyama Satoru, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Normal Pressure Hydrocephalus in Systemic Lupus Erythematosus: A Severe Case of Recurrent Cerebral Infarctions After Ventriculoperitoneal Shunt.	J Clin Rheumatol. 2019 Jun 27. doi: 10.1097/RHU.0000000000001101. Online ahead of print.	Original Article
151	Sakai Yasunari, Ohira Masayoshi, Yokokawa Yoshiharu, et al.	リハビリテーション部	Cough Strength Is an Indicator of Aspiration Risk When Restarting Food Intake in Elderly Subjects With Community-Acquired Pneumonia.	Respir Care. 2020 Feb;65(2):169-176. doi: 10.4187/respcare.07067. Epub 2019 Oct 15.	Original Article
152	Sakai Yasunari, Yamamoto Shuhei, Hoshina Miho, et al.	リハビリテーション部	Using SpO2 Recovery Index after a 6-Minute Walk Test to Predict Respiratory-Related Events in Hospitalized Patients with Interstitial Pneumonia.	Sci Rep. 2019 Oct 23;9(1):15226. doi: 10.1038/s41598-019-51818-1.	Original Article
153	Sakaizawa Kaori, Ashida Atsuko, Kiniwa Yukiko, et al.	皮膚科	BRAF Mutation Heterogeneity in Melanoma Lesions.	Acta Derm Venereol. 2020 Jan 30;100(1):adv00045. doi: 10.2340/00015555-3394.	Original Article

154	Sakurai Shin-Ichi, Yamada Shin-Ichi, Karasawa Imahito, et al.	特殊歯科・口腔外科	A longitudinal study on the relationship between dental health and metabolic syndrome in Japan.	J Periodontol. 2019 Jul;90(7):728-746. doi: 10.1002/JPER.18-0523. Epub 2019 Feb 20.	Original Article
155	Sasaki Tetsuo, Kakizawa Yukinari, Yoshino Masato, et al.	脳神経外科	Numerical Analysis of Bifurcation Angles and Branch Patterns in Intracranial Aneurysm Formation.	Neurosurgery. 2019 Jul 1;85(1):E31-E39. doi: 10.1093/neuros/nyy387.	Original Article
156	Sasayama Daimei, Hattori Kotaro, Kunugi Hiroshi, et al.	精神科	Trait Loci Mapping and CSF Proteome.	Methods Mol Biol. 2019;2044:365-376. doi: 10.1007/978-1-4939- 9706-0_24.	Original Article
157	Sato Koichi, Suga Tomoaki, Hirayama Atsuhiro, et al.	消化器内科	Diffuse large B-cell lymphoma of the colon and rectum in a patient with colonic Crohn's disease treated with infliximab and azathioprine.	Clin J Gastroenterol. 2020 Feb;13(1):1-5. doi: 10.1007/s12328-019- 01026-1. Epub 2019 Jul 26.	Original Article
158	Sato Koichi, Uehara Takeshi, Iwaya Mai, et al.	消化器内科	Correlation of clinicopathological features and LGR5 expression in colon adenocarcinoma.	Ann Diagn Pathol. 2019 Jun;40:161-165. doi: 10.1016/j.anndiagpath.201 9.05.002. Epub 2019 May 3.	Original Article

159	Sato Masaaki, Ido Yoshikazu, Yoshimura Yasuo, et al.	保健学科	Relationship of Malnutrition During Hospitalization With Functional Recovery and Postdischarge Destination in Elderly Stroke Patients.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2019 Jul;28(7):1866–1872. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2019.04.012. Epub 2019 May 10.	Original Article
160	Sato Mitsuto, Shiba Naoko, Miyazaki Daigo, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	Amelioration of intracellular Ca ²⁺ regulation by exon-45 skipping in Duchenne muscular dystrophy-induced pluripotent stem cell-derived cardiomyocytes.	Biochem Biophys Res Commun. 2019 Nov 26;520(1):179–185. doi: 10.1016/j.bbrc.2019.09.095. Epub 2019 Oct 1.	Original Article
161	Sato Rika, Kiniwa Yukiko, Shirai Takushi, et al.	皮膚科	Sarcoidosis mimicking malar rash: a case of lupus pernio.	Eur J Dermatol. 2019 Jun 1;29(3):331–332. doi: 10.1684/ejd.2019.3551.	Case Reports
162	Sato Yuki, Shirota Shiho, Kiniwa Yukiko, et al.	皮膚科	Thymoma-associated graft-versus-host-like disease treated with high-dose i.v. immunoglobulin.	J Dermatol. 2019 Jun;46(6):e224–e225. doi: 10.1111/1346-8138.14757. Epub 2019 Jan 18.	Case Reports
163	Satou Takahisa, Imamura Hiroshi, Mochiduki Katunori, et al.	救急科	Efficacy of protocol-based non-invasive positive pressure ventilation for acute respiratory distress syndrome: a retrospective observational study.	Acute Med Surg. 2019 Nov 6;7(1):e465. doi: 10.1002/ams.2465. eCollection 2020 Jan–Dec.	Original Article

164	Sekiguchi Nodoka, Noguchi Takuro, Fukushima Toshiro, et al.	包括的がん治療学	Posterior mediastinal ganglioneuroblastoma in an adolescent: A case report and review.	Thorac Cancer. 2020 Feb;11(2):451-455. doi: 10.1111/1759-7714.13277. Epub 2019 Dec 14.	Case Reports
165	Sekijima Yoshiaki, Mundayat Rajiv, Ishii Tomonori, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原病内科	The current status of the Transthyretin Amyloidosis Outcomes Survey (THAOS) in Japan.	Amyloid. 2019;26(sup1):61-62. doi: 10.1080/13506129.2019.1583182.	Original Article
166	Shigemura Tomonari, Sakashita Kazuo, Okura Eri, et al.	小児科	Comparative analysis of graft-versus-host disease prophylaxis with tacrolimus in combination with methylprednisolone or methotrexate after umbilical cord blood transplantation.	Int J Hematol. 2020 May;111(5):702-710. doi: 10.1007/s12185-020-02826-9. Epub 2020 Jan 18.	Original Article
167	Shigemura Tomonari, Matsuda Kazuyuki, Kurata Takashi, et al.	小児科	Essential role of PTPN11 mutation in enhanced haematopoietic differentiation potential of induced pluripotent stem cells of juvenile myelomonocytic leukaemia.	Br J Haematol. 2019 Oct;187(2):163-173. doi: 10.1111/bjh.16060. Epub 2019 Jun 20.	Original Article
168	Shigemura Tomonari, Yanagisawa Ryu, Komori Kazutoshi, et al.	小児科	Prevention of transfusion-transmitted cytomegalovirus infection using leukoreduced blood components in patients receiving seronegative umbilical cord blood transplantation.	Transfusion. 2019 Oct;59(10):3065-3070. doi: 10.1111/trf.15456. Epub 2019 Jul 19.	Original Article

169	Shimada Takeshi, Ohori Manami, Inagaki Yusuke, et al.	保健学科	Effect of adding individualized occupational therapy to standard care on rehospitalization of patients with schizophrenia: A 2-year prospective cohort study.	Psychiatry Clin Neurosci. 2019 Aug;73(8):476–485. doi: 10.1111/pcn.12858. Epub 2019 Jun 13.	Original Article
170	Shimojima Yasuhiro, Kishida Dai, Ueno Ken-Ichi, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Characteristics of Circulating Natural Killer Cells and Their Interferon-gamma Production in Active Adult-onset Still Disease.	J Rheumatol. 2019 Oct;46(10):1268–1276. doi: 10.3899/jrheum.181192. Epub 2019 Feb 15.	Original Article
171	Shinagawa Jun, Moteki Hideaki, Nishio Shin-Ya, et al.	耳鼻咽喉科	Prevalence and clinical features of hearing loss caused by EYA4 variants.	Sci Rep. 2020 Feb 27;10(1):3662. doi: 10.1038/s41598-020-60259-0.	Original Article
172	Shinagawa Jun, Moteki Hideaki, Nishio Shin-Ya, et al.	耳鼻咽喉科	Haplotype Analysis of GJB2 Mutations: Founder Effect or Mutational Hot Spot?	Genes (Basel). 2020 Feb 27;11(3):250. doi: 10.3390/genes11030250.	Original Article
173	Shirai Takushi, Kiniwa Yukiko, Ishii Norito, et al.	皮膚科	Paraneoplastic pemphigus associated with Waldenstrom's macroglobulinemia.	J Dermatol. 2020 May;47(5):e200–e201. doi: 10.1111/1346-8138.15289. Epub 2020 Feb 27.	Letter

174	Sobajima Atsushi, Haniu Hisao, Nomura Hiroki, et al.	整形外科	Organ accumulation and carcinogenicity of highly dispersed multi-walled carbon nanotubes administered intravenously in transgenic rasH2 mice.	Int J Nanomedicine. 2019 Aug 12;14:6465-6480. doi: 10.2147/IJN.S208129. eCollection 2019.	Original Article
175	Sonehara Kei, Tateishi Kazunari, Komatsu Masamichi, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Modified Glasgow Prognostic Score as a Prognostic Factor in Patients with Extensive Disease- Small-Cell Lung Cancer: A Retrospective Study in a Single Institute.	Chemotherapy. 2019;64(3):129-137. doi: 10.1159/000502681. Epub 2019 Oct 17.	Original Article
176	Sonehara Kei, Kobayashi Takashi, Tateishi Kazunari, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Clinical analysis of EGFR-positive non- small cell lung cancer patients treated with first-line afatinib: A Nagano Lung Cancer Research Group.	Thorac Cancer. 2019 May;10(5):1078-1085. doi: 10.1111/1759- 7714.13047. Epub 2019 Apr 20.	Original Article
177	Sonehara Kei, Tateishi Kazunari, Fukushima Toshiro, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	The efficacy of amrubicin third-line chemotherapy in patients with relapsed extensive-disease small-cell lung cancer: A retrospective and historical study in a single institute.	Thorac Cancer. 2019 Sep;10(9):1805-1811. doi: 10.1111/1759- 7714.13150. Epub 2019 Jul 27.	Original Article
178	Suga Tomoaki, Ito Akihiro, Ota Hiroyoshi, et al.	内視鏡センター	Response to the letter by Matsushita et al. regarding our manuscript “Resection Depth and Layer of Cold Snare Polypectomy versus Endoscopic Mucosal Resection”.	J Gastroenterol. 2019 May;54(5):473. doi: 10.1007/s00535-019- 01566-w. Epub 2019 Mar 9.	Letter

179	Sugiyama Kenjiro, Moteki Hideaki, Kitajiri Shin-Ichiro, et al.	耳鼻咽喉科	Mid-Frequency Hearing Loss Is Characteristic Clinical Feature of OTOA-Associated Hearing Loss.	Genes (Basel). 2019 Sep 16;10(9):715. doi: 10.3390/genes10090715.	Original Article
180	Sunohara Daisuke, Motoki Hirohiko, Saigusa Tatsuya, et al.	循環器内科	Biopsy detection and clinical management of acute lymphocytic myocarditis in pregnancy.	J Cardiol Cases. 2019 Aug 12;20(5):164–167. doi: 10.1016/j.jccase.2019.07. 010. eCollection 2019 Nov.	Case Reports
181	Suwa Manabu, Minagawa Akane, Sano Tasuku, et al.	皮膚科	Blue nodule on the finger.	JAAD Case Rep. 2019 May 8;5(5):458–460. doi: 10.1016/j.jdcr.2019.03.02 2. eCollection 2019 May.	Original Article
182	Suzuki Sho, Motoki Hirohiko, Minamisawa Masatoshi, et al.	循環器内科	Prognostic significance of high- sensitivity cardiac troponin in patients with heart failure with preserved ejection fraction.	Heart Vessels. 2019 Oct;34(10):1650–1656. doi: 10.1007/s00380-019- 01393-2. Epub 2019 Mar 30.	Original Article
183	Suzuki Takako, Nakamura Yukio, Kato Hiroyuki, et al.	整形外科	Effects of monthly minodronate with or without eldecalcitol addition in osteoporosis patients with rheumatoid arthritis: An 18- month prospective study.	Osteoporos Sarcopenia. 2019 Dec;5(4):122–127. doi: 10.1016/j.afos.2019.11.00 4. Epub 2019 Dec 16.	Original Article

184	Suzuki Takako, Nakamura Yukio, Kato Hiroyuki, et al.	整形外科	Efficacy of 4-year denosumab treatment alone or in combination with teriparatide in Japanese postmenopausal osteoporotic women.	Mod Rheumatol. 2019 Jul;29(4):676-681. doi: 10.1080/14397595.2018.1524997. Epub 2018 Nov 28.	Original Article
185	Suzuki Takako, Nakamura Yukio, Kato Hiroyuki, et al.	整形外科	Calcium and vitamin D supplementation with 3-year denosumab treatment is beneficial to enhance bone mineral density in postmenopausal patients with osteoporosis and rheumatoid arthritis.	Ther Clin Risk Manag. 2018 Dec 18;15:15-22. doi: 10.2147/TCRM.S182858.	Original Article
186	Suzuki Toshiro, Hattori Ryouhei, Minagawa Tomonori, et al.	皮膚科	Intestinal Injury by Heat Conduction from Surgical Sealing Devices.	JSLS. 2019 Jan-Mar;23(1):e2018.00100. doi: 10.4293/JSLS.2018.00100	Original Article
187	Tabata Hiroaki, Motoki Hirohiko, Sakai Takahiro, et al.	循環器内科	Epicardial Stone – Unfamiliar Calcified Mass at the Site of Left Ventricular Old Myocardial Infarction.	Circ J. 2019 Aug 23;83(9):1969. doi: 10.1253/circj.CJ-18-1102. Epub 2019 Mar 6.	Case Reports
188	Takaeda Kana, Kamimura Tomoko, Inoue Takenobu, et al.	保健学科	Reliability and acceptability of using a social robot to carry out cognitive tests for community-dwelling older adults.	Geriatr Gerontol Int. 2019 Jun;19(6):552-556. doi: 10.1111/ggi.13655. Epub 2019 Mar 18.	Original Article

189	Takahashi Tohru, Yamazaki Isamu, Harada Yoshihiko, et al.	総合健康安全センター	Case reports of Cotard's syndrome in Japan: a review.	Psychogeriatrics. 2020 Jul;20(4):540-541. doi: 10.1111/psych.12536. Epub 2020 Feb 26.	Original Article
190	Takasone Ken, Usuda Maho, Yoshinaga Tsuneaki, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科	Limbic Encephalitis with Anti-myelin Oligodendrocyte Glycoprotein Antibody.	Intern Med. 2020 Jun 1;59(11):1465-1466. doi: 10.2169/internalmedicine. 4216-19. Epub 2020 Mar 5.	Original Article
191	Takeuchi Yusuke, Shigemura Tomonari, Kobayashi Norimoto, et al.	小児科	Clinical features and new diagnostic criteria for the syndrome of periodic fever, aphthous stomatitis, pharyngitis, and cervical adenitis.	Int J Rheum Dis. 2019 Aug;22(8):1489-1497. doi: 10.1111/1756- 185X.13610. Epub 2019 May 27.	Original Article
192	Tamada Hisashi, Kobayashi Mikiko, Sano Kenji, et al.	臨床検査部	Ultrastructure of CIC-DUX4 sarcoma: the first pathological report.	Ultrastruct Pathol. 2020 Mar 3;44(2):237-244. doi: 10.1080/01913123.2020.1 737610. Epub 2020 Mar 9.	Original Article
193	Tanaka Atsushi, Yoshimura Yasuo, Momose Takashige, et al.	整形外科	Successful treatment of adult pleomorphic rhabdomyosarcoma with bone invasion in the lower leg by chemotherapy and biological reconstruction: A case report.	J Orthop Sci. 2019 Sep;24(5):930-935. doi: 10.1016/j.jos.2017.03.007 . Epub 2017 Mar 27.	Case Reports

194	Tanaka Hayato, Hayashi Wataru, Iimura Masaki, et al.	保健学科	Wastewater as a Probable Environmental Reservoir of Extended-Spectrum-beta-Lactamase Genes: Detection of Chimeric beta-Lactamases CTX-M-64 and CTX-M-123.	Appl Environ Microbiol. 2019 Oct 30;85(22):e01740-19. doi: 10.1128/AEM.01740-19. Print 2019 Nov 15.	Original Article
195	Tanaka Ryusuke, Tanaka Satoshi, Ichino Takashi, et al.	麻醉科蘇生科	Differential effects of sevoflurane and propofol on an electroretinogram and visual evoked potentials.	J Anesth. 2020 Apr;34(2):298-302. doi: 10.1007/s00540-020-02733-7. Epub 2020 Jan 16.	Original Article
196	Tanaka Satoshi, Ichino Takashi, Kawamata Mikito, et al.	麻醉科蘇生科	Reply to the letter to the editor.	J Anesth. 2019 Apr;33(2):349. doi: 10.1007/s00540-019-02617-5. Epub 2019 Mar 9.	Letter
197	Tateishi Kazunari, Ko Ryo, Shukuya Takehito, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Clinical Outcomes of Second-Line Chemotherapy in Patients with Previously Treated Advanced Thymic Carcinoma: A Retrospective Analysis of 191 Patients from the NEJ023 Study.	Oncologist. 2020 Apr;25(4):e668-e674. doi: 10.1634/theoncologist.2019-0593. Epub 2019 Nov 26.	Original Article
198	Tensho Keiji, Iwaasa Tomoya, Shimodaira Hiroki, et al.	整形外科	Anatomical Remnant-Preserving Double-Bundle ACL Reconstruction With a New Remnant Augmentation Technique.	Arthrosc Tech. 2020 Jan 24;9(2):e283-e290. doi: 10.1016/j.eats.2019.10.009. eCollection 2020 Feb.	Original Article

199	Tensho Keiji, Iwaasa Tomoya, Koyama Suguru, et al.	整形外科	The interrelationship between anterior cruciate ligament tibial footprint and anterolateral meniscal root insertions: Quantitative, morphological and positional analyses using three-dimensional computed tomography images.	Knee. 2019 Oct;26(5):969-977. doi: 10.1016/j.knee.2019.07.04. Epub 2019 Jul 30.	Original Article
200	Terada Nobuo, Saitoh Yurika, Kamijo Akio, et al.	保健学科	Structures and Molecular Composition of Schmidt-Lanterman Incisures.	Adv Exp Med Biol. 2019;1190:181-198. doi: 10.1007/978-981-32-9636-7_12.	Original Article
201	Tokida Ryosuke, Uehara Masashi, Ikegami Shota, et al.	リハビリテーション部	Association Between Sagittal Spinal Alignment and Physical Function in the Japanese General Elderly Population: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled from a Basic Resident Registry.	J Bone Joint Surg Am. 2019 Sep 18;101(18):1698-1706. doi: 10.2106/JBJS.18.01384.	Original Article
202	Tokoro Hirokazu, Yamada Akira, Suzuki Takeshi, et al.	放射線科	Usefulness of breath-hold compressed sensing accelerated three-dimensional magnetic resonance cholangiopancreatography (MRCP) added to respiratory-gating conventional MRCP.	Eur J Radiol. 2020 Jan;122:108765. doi: 10.1016/j.ejrad.2019.108765. Epub 2019 Nov 22.	Original Article
203	Uehara Masashi, Takahashi Jun, Ikegami Shota, et al.	整形外科	Impact of Diffuse Idiopathic Skeletal Hyperostosis on Sagittal Spinal Alignment in the General Elderly Population: A Japanese Cohort Survey Randomly Sampled from a Basic Resident Registry.	JB JS Open Access. 2019 Jul 16;4(3):e0062.1-6. doi: 10.2106/JBJS.OA.18.00062. eCollection 2019 Jul-Sep.	Original Article

204	Uehara Masashi, Takahashi Jun, Ikegami Shota, et al.	整形外科	Determination of optimal screw number based on correction angle for main thoracic curve in adolescent idiopathic scoliosis.	J Orthop Sci. 2019 May;24(3):415-419. doi: 10.1016/j.jos.2018.11.004 . Epub 2018 Dec 1.	Original Article
205	Uehara Masashi, Takahashi Jun, Ikegami Shota, et al.	整形外科	How Much Surface Registration Accuracy is Required Using Ct-based Navigation System in Adolescent Idiopathic Scoliosis Surgery?	Clin Spine Surg. 2019 Apr;32(3):E166-E170. doi: 10.1097/BSD.00000000000000759.	Original Article
206	Uehara Masashi, Takahashi Jun, Ikegami Shota, et al.	整形外科	Correlation of Lower Instrumented Vertebra With Spinal Mobility and Health-related Quality of Life After Posterior Spinal Fusion for Adolescent Idiopathic Scoliosis.	Clin Spine Surg. 2019 Aug;32(7):E326-E329. doi: 10.1097/BSD.00000000000000794.	Original Article
207	Uehara Masashi, Nakamura Yukio, Takahashi Jun, et al.	整形外科	Efficacy of denosumab therapy for a 21-year-old woman with Prader-Willi syndrome, osteoporosis and history of fractures: a case report.	Ther Clin Risk Manag. 2019 Feb 25;15:303-307. doi: 10.2147/TCRM.S186855. eCollection 2019.	Case Reports
208	Ueki Yasushi, Miura Takashi, Mochidome Tomoaki, et al.	循環器内科	Comparison of leg loader and treadmill exercise for evaluating patients with peripheral artery disease.	Heart Vessels. 2019 Apr;34(4):590-596. doi: 10.1007/s00380-018-1274-6. Epub 2018 Oct 4.	Original Article

209	Ueno Fumika, Kitaguchi Yoshiaki, Shiina Takayuki, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	The Interstitial Lung Disease–Gender–Age–Physiology Index Can Predict the Prognosis in Surgically Resected Patients with Interstitial Lung Disease and Concomitant Lung Cancer.	Respiration. 2020;99(1):9–18. doi: 10.1159/000502849. Epub 2019 Sep 25.	Original Article
210	Ueno Manabu, Minagawa Tomonori, Saito Tetsuichi, et al.	泌尿器科	Therapeutic effects of Chōreito, a traditional Japanese (Kampo) medicine, on detrusor overactivity induced by acetic acid in rats.	Low Urin Tract Symptoms. 2020 Feb 3. doi: 10.1111/luts.12302. Online ahead of print.	Original Article
211	Umemura Takeji, Joshita Satoru, Saito Hiromi, et al.	消化器内科	KIR/HLA genotypes confer susceptibility and progression in patients with autoimmune hepatitis.	JHEP Rep. 2019 Oct 25;1(5):353–360. doi: 10.1016/j.jhepr.2019.09.003. eCollection 2019 Nov.	Original Article
212	Usami Shin-Ichi, Nishio Shin-Ya, Moteki Hideaki, et al.	耳鼻咽喉科	Cochlear Implantation From the Perspective of Genetic Background.	Anat Rec (Hoboken). 2020 Mar;303(3):563–593. doi: 10.1002/ar.24360. Epub 2020 Feb 6.	Original Article
213	Usami Yoko, Ichihara Kiyoshi, Uehara Takeshi, et al.	臨床検査部	Evaluation of a novel serum IgG4 assay and determination of reference interval for the Japanese population.	Clin Chim Acta. 2020 Feb;501:136–141. doi: 10.1016/j.cca.2019.10.032. Epub 2019 Nov 12.	Original Article

214	Wakabayashi Ryo, Ide Susumu, Ishida Takashi, et al.	麻醉科蘇生科	Severe mitral regurgitation due to geometric changes in the mitral valve after surgical aortic valve replacement.	JA Clin Rep. 2019 Sep 5;5(1):59. doi: 10.1186/s40981-019- 0277-3.	Original Article
215	Wakabayashi Shun- Ichi, Kimura Takefumi, Tanaka Naoki, et al.	消化器内科	Red plasma and ascites under ultraviolet A.	Lancet Gastroenterol Hepatol. 2019 Apr;4(4):324. doi: 10.1016/S2468- 1253(18)30357-1.	Case Reports
216	Watanabe Hiroaki, Yamaori Satoshi, Kamijo Shinobu, et al.	薬剤部	In Vitro Inhibitory Effects of Sesamin on CYP4F2 Activity.	Biol Pharm Bull. 2020;43(4):688-692. doi: 10.1248/bpb.b19-00953.	Original Article
217	Watanabe Hiroaki, Mimura Akira, Fukushima Toshiro, et al.	薬剤部	[Desensitization Therapy for Osimertinib in Patients Who Developed Toxic Erythema – Two Case Reports].	Gan To Kagaku Ryoho. 2019 May;46(5):961-963.	Case Reports
218	Widyasaputra Maureen Tania, Ogawa Eisaku, Saiki Minoru, et al.	皮膚科	p63 overexpression in the epidermis of spiny keratoderma.	J Dermatol. 2020 Jan;47(1):e29-e30. doi: 10.1111/1346- 8138.15135. Epub 2019 Nov 6.	Letter

219	Yamada Akira, Oyama Kazuki, Fujita Sachie, et al.	放射線科	Dynamic contrast-enhanced computed tomography diagnosis of primary liver cancers using transfer learning of pretrained convolutional neural networks: Is registration of multiphasic images necessary?	Int J Comput Assist Radiol Surg. 2019 Aug;14(8):1295-1301. doi: 10.1007/s11548-019-01987-1. Epub 2019 May 3.	Original Article
220	Yamada Shin-Ichi, Hasegawa Takumi, Soutome Sakiko, et al.	特殊歯科・口腔外科	Prevalence of and risk factors for postoperative hemorrhage after lower third molar extraction on warfarin therapy: a multicenter retrospective study in Japan.	Odontology. 2020 Jul;108(3):462-469. doi: 10.1007/s10266-019-00474-y. Epub 2019 Nov 8.	Original Article
221	Yamada Shin-Ichi, Hasegawa Takumi, Okuyama Kohei, et al.	特殊歯科・口腔外科	Clinical significance of the G8 screening tool in elderly patients with oral squamous cell carcinoma.	Clin Oral Investig. 2020 Jun;24(6):1953-1961. doi: 10.1007/s00784-019-03056-y. Epub 2019 Aug 13.	Original Article
222	Yamada Shin-Ichi, Kurita Hiroshi, Nakano Ryoko, et al.	特殊歯科・口腔外科	Treatment strategies for and outcomes of older patients with oral squamous cell carcinoma.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2020 Apr;129(4):322-329. doi: 10.1016/j.oooo.2019.10.009. Epub 2020 Feb 24.	Original Article
223	Yamada Shin-Ichi, Soutome Sakiko, Hasegawa Takumi, et al.	特殊歯科・口腔外科	A multicenter retrospective investigation on the efficacy of perioperative oral management in cancer patients.	Medicine (Baltimore). 2020 Mar;99(10):e19129. doi: 10.1097/MD.00000000000019129.	Original Article

224	Yamada Shin-Ichi, Kurita Hiroshi, Kondo Eiji, et al.	特殊歯科・口腔外科	Treatment outcomes and prognostic factors of medication-related osteonecrosis of the jaw: a case- and literature-based review.	Clin Oral Investig. 2019 Aug;23(8):3203-3211. doi: 10.1007/s00784-018-2743-0. Epub 2018 Nov 8.	Original Article
225	Yamada Yasushi, Miyamoto Tsutomu, Higuchi Shotaro, et al.	産科婦人科	cDNA expression library screening revealed novel functional genes involved in clear cell carcinogenesis of the ovary invitro.	J Obstet Gynaecol. 2020 Mar 11:1-6. doi: 10.1080/01443615.2020.1716310. Online ahead of print.	Original Article
226	Yamada Yosuke, Inui Keita, Hara Yuuta, et al.	腎臓内科	Verification of serum albumin elevating effect of cell-free and concentrated ascites reinfusion therapy for ascites patients: a retrospective controlled cohort study.	Sci Rep. 2019 Jul 15;9(1):10195. doi: 10.1038/s41598-019-46774-9.	Original Article
227	Yamagishi Yusuke, Okamoto Masanori, Yoshimura Yasuo, et al.	整形外科	Continued growth of locally aggressive fibrous dysplasia of 22years duration after reaching adulthood: a case report.	J Surg Case Rep. 2020 Feb 11;2020(2):rjz406. doi: 10.1093/jscr/rjz406. eCollection 2020 Feb.	Case Reports
228	Yamaguchi Daisuke, Izawa Atsushi, Matsunaga Yasuko, et al.	保健学科	The Association of Depression with Type D Personality and Coping Strategies in Patients with Coronary Artery Disease.	Intern Med. 2020;59(13):1589-1595. doi: 10.2169/internalmedicine.3803-19. Epub 2020 Jul 1.	Original Article

229	Yamaguchi Tomomi, Takano Kyoko, Inaba Yuji, et al.	遺伝子医療研究センター	PIEZ02 deficiency is a recognizable arthrogryposis syndrome: A new case and literature review.	Am J Med Genet A. 2019 Jun;179(6):948-957. doi: 10.1002/ajmg.a.61142. Epub 2019 Apr 2.	Case Reports
230	Yamamoto Hiroshi, Yasuo Masanori, Komatsu Masamichi, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Comparison of the chemokine profiles in the bronchoalveolar lavage fluid between IgG4-related respiratory disease and sarcoidosis: CC-chemokine ligand 1 might be involved in the pathogenesis of sarcoidosis.	Cytokine. 2019 Aug;120:125-129. doi: 10.1016/j.cyto.2019.04.017. Epub 2019 May 4.	Original Article
231	Yamamoto Shuhei, Yamaga Takayoshi, Nishie Kenichi, et al.	リハビリテーション部	Positive airway pressure therapy for the treatment of central sleep apnoea associated with heart failure.	Cochrane Database Syst Rev. 2019 Dec 4;12(12):CD012803. doi: 10.1002/14651858.CD012803.pub2.	Original Article
232	Yamanaka Manjiro, Yanagisawa Ryu, Kojima Shunsuke, et al.	輸血部	Investigation of factors associated with allergic transfusion reaction due to platelet transfusion and the efficacy of platelets resuspended in BRS-A in adult patients.	Transfusion. 2019 Nov;59(11):3405-3412. doi: 10.1111/trf.15527. Epub 2019 Sep 18.	Original Article
233	Yanagisawa Ryu, Matsuda Kazuyuki, Ohga Shouichi, et al.	輸血部	Factors predicting the recurrence of Epstein-Barr virus-associated hemophagocytic lymphohistiocytosis in children after treatment using the HLH-2004 protocol.	Int J Hematol. 2019 May;109(5):612-617. doi: 10.1007/s12185-019-02612-2. Epub 2019 Feb 20.	Original Article

234	Yanagisawa Ryu, Tatsuzawa Yuka, Ono Takako, et al.	輸血部	Analysis of clinical presentations of allergic transfusion reactions and febrile non-haemolytic transfusion reactions in paediatric patients.	Vox Sang. 2019 Nov;114(8):826-834. doi: 10.1111/vox.12833. Epub 2019 Aug 28.	Original Article
235	Yasukawa Rika, Moteki Hideaki, Nishio Shin-Ya, et al.	耳鼻咽喉科	The Prevalence and Clinical Characteristics of TECTA-Associated Autosomal Dominant Hearing Loss.	Genes (Basel). 2019 Sep 24;10(10):744. doi: 10.3390/genes10100744.	Original Article
236	Yasunaga Yoshichika, Yanagisawa Daisuke, Ohata Erika, et al.	形成外科	Bioelectrical Impedance Analysis of Water Reduction in Lower-Limb Lymphedema by Lymphaticovenular Anastomosis.	J Reconstr Microsurg. 2019 May;35(4):306-314. doi: 10.1055/s-0038-1675368. Epub 2018 Nov 2.	Original Article
237	Yasuo Masanori, Kitaguchi Yoshiaki, Tokoro Yayoi, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	Differences Between Central Airway Obstruction and Chronic Obstructive Pulmonary Disease Detected with the Forced Oscillation Technique.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2020 Jun 19;15:1425-1434. doi: 10.2147/COPD.S246126. eCollection 2020.	Original Article

238	Yasuo Masanori, Droma Yunden, Kitaguchi Yoshiaki, et al.	呼吸器・感染症・アレルギー 内科	The relationship between acrolein and oxidative stress in COPD: in systemic plasma and in local lung tissue.	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2019 Jul 12;14:1527-1537. doi: 10.2147/COPD.S208633. eCollection 2019.	Original Article
239	Yoshida Kazushige, Okamoto Masanori, Sasaki Jun, et al.	整形外科	Anti-PD-1 antibody decreases tumour- infiltrating regulatory T cells.	BMC Cancer. 2020 Jan 8;20(1):25. doi: 10.1186/s12885-019- 6499-y.	Original Article
240	Yoshida Kazushige, Okamoto Masanori, Sasaki Jun, et al.	整形外科	Clinical outcome of osteosarcoma and its correlation with programmed death- ligand 1 and T cell activation markers.	Onco Targets Ther. 2019 Apr 3;12:2513-2518. doi: 10.2147/OTT.S198421. eCollection 2019.	Original Article
241	Yoshimura Hidekane, Moteki Hideaki, Nishio Shin-Ya, et al.	耳鼻咽喉科	Genetic testing has the potential to impact hearing preservation following cochlear implantation.	Acta Otolaryngol. 2020 Jun;140(6):438-444. doi: 10.1080/00016489.2020.1 730439. Epub 2020 Mar 5.	Original Article

242	Yoshinaga Tsuneaki, Kurokawa Toru, Uehara Takeshi, et al.	脳神経内科／リウマチ・膠原 病内科		[Optic neuropathy from connected intra- and extraorbital lesions in IgG4-related disease].	Rinsho Shinkeigaku. 2019 Nov 8;59(11):746-751. doi: 10.5692/clinicalneurol.cn- 001342. Epub 2019 Oct 26.	Case Reports
243	Yuzuriha Shunsuke, Nagai Fumio, Noguchi Masahiko, et al.	形成外科		How to Manage Disfiguring Scars in Involved Infantile Hemangioma.	Adv Wound Care (New Rochelle). 2019 Jun 1;8(6):221-229. doi: 10.1089/wound.2018.0847 . Epub 2019 Jun 6.	Original Article

計243件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること（筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。）
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月（原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない）；巻数：該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名・出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例：Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)

6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report
3					
～					

計 件

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 手順書の主な内容 <p>①「臨床研究に関する標準業務手順書」・「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて、国立大学法人信州大学医学部・附属病院における研究者が主導して行う人を対象とする医学系研究の実施に必要な手続きと運営に関する手順を定めている。 ②「倫理審査申請の手順」・倫理審査申請から承認、研究の実施までの流れを定めている。 ③「他の研究機関からの審査依頼に関する標準業務手順書」・他の研究機関の長から人を対象とする医学系研究の審議を依頼された場合の手順を定めている。</p>	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
 2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="radio"/> ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> 規定の主な内容 <p>国立大学法人信州大学臨床研究に係る利益相反マネジメント規程による</p>	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年数回（適宜）

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 1 ~ 2 回
<ul style="list-style-type: none"> 研修の主な内容 <p>倫理委員の外部研修への参加 eAPRINのe-learning受講による教育研修（研究者・倫理委員は受講修了が必須）</p>	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

後期研修

内科学(1)（呼吸器・感染症・アレルギー内科）大学院・専門医コース、呼吸器専門医・感染症専門医・アレルギー専門医コース、消化器（肝・胆臍・消化管）専門医コース、血液内科専門医コース、腎臓・透析専門医コース、神経内科専門医コース、リウマチ・膠原病内科専門医コース、脳神経内科大学院コース、リウマチ・膠原病内科大学院コース、大学院・研究コース、臨床コース、一般循環器内科コース、循環器内科サブスペシャリティ取得コース、大学院・研究コース、一般精神医学コース、大学院・研究コース、精神科サブスペシャリティ取得コース、小児科専門研修プログラム、一般皮膚科コース、大学院・研究コース、皮膚科サブスペシャリティ取得コース、放射線科専門医コース、放射線診断専門医コース、放射線治療専門医コース、外科コース、一般整形外科コース、大学院・研究コース、整形外科サブスペシャリティ取得コース、脳神経外科専門医コース、泌尿器科コース、眼科専門医コース、専門医コース、一般産婦人科医学コース、研究コース、産婦人科サブスペシャリティ取得コース、麻酔科専門医コース その1（卒後臨床研修2年終了後、大学院・学位取得）、麻酔科専門医コース その2（卒後臨床研修2年終了後、大学院・関連病院間連携）、形成外科専門医コース、一般救急・集中治療医コース、大学院・研究コース、病理、検査専門医コース、臨床遺伝専門医コース、精神科サブスペシャリティ取得コース、腫瘍内科・放射線治療専門医コース、特殊歯科・口腔外科アドバンストコース

専攻医研修（基本領域）

内科専門研修プログラム、精神科専門研修プログラム、小児科専門研修プログラム、皮膚科専門研修プログラム、放射線科専門研修プログラム、外科専門研修プログラム、整形外科専門研修プログラム、脳神経外科専門研修プログラム、泌尿器科専門研修プログラム、眼科専門研修プログラム、耳鼻咽喉科専門研修プログラム、産婦人科専門研修プログラム、麻酔科専門研修プログラム、形成外科専門研修プログラム、救急科専門研修プログラム、リハビリテーション科専門研修プログラム、臨床検査専門研修プログラム、病理専門研修プログラム

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	126 人
-------------	-------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
花岡 正幸	呼吸器・感染症 内科	診療科長	30 年	
梅村 武司	消化器内科	副診療科長	19 年	
上條 祐司	腎臓内科	専門診療科長	25 年	
中澤 英之	血液内科	専門診療科長	18 年	
関島 良樹	脳神経内科	診療科長	28 年	
下島 恭弘	リウマチ・膠原 病内科	リウマチ・膠原病 内科専門診療科長	20 年	
駒津 光久	糖尿病・内分泌	診療科長	33 年	

	代謝内科			
桑原 宏一郎	循環器内科	診療科長	28 年	
鷲塚 伸介	精神科	診療科長	25 年	
中沢 洋三	小兒科	診療科長	23 年	
奥山 隆平	皮膚科	診療科長	30 年	
藤永 康成	放射線科	診療科長	26 年	
副島 雄二	消化器外科 移植外科 小兒外科	診療科長	29 年	
瀬戸 達一郎	心臓血管外科	診療科長	24 年	
伊藤 研一	乳腺・内分泌外 科、呼吸器外科	診療科長	31 年	
高橋 淳	整形外科	診療科長	27 年	
堀内 哲吉	脳神経外科	副診療科長	28 年	
栗田 浩	特殊歯科・口腔 外科	診療科長	32 年	
石塚 修	泌尿器科	診療科長	34 年	
村田 敏規	眼科	診療科長	32 年	
宇佐美 慎一	耳鼻いんこう科	診療科長	38 年	
塩沢 丹里	産科婦人科	診療科長	33 年	
川真田 樹人	麻酔科蘇生科	診療科長	33 年	
杠 俊介	形成外科	診療科長	30 年	
今村 浩	救急科	診療科長	32 年	
堀内 博志	リハビリテーシ ョン科	職付・特定雇用診 療科長	27 年	
上原 剛	病理診断科	職付・診療教授	22 年	
本田 孝行	臨床検査部	職付・診療部長	38 年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

- 研修の主な内容 医療機器研修

人工心肺装置及び補助循環装置 血液浄化装置 人工呼吸器 除細動器 閉鎖式保育器 輸液・シリングポンプの研修を実施

- 研修の期間・実施回数 各機器に対して年2回以上実施 全26回

- 研修の参加人数 開催する部門でことなるが各回10～20名程度

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

- 研修の主な内容 ①看護職の管理者（師長等）を対象とした労務管理、マネジメントリフレクション
②看護職の管理者（副師長）を対象としたSWOT分析、看護サービス管理、マネジメントリフレクションに関する研修を実施

- 研修の期間・実施回数 ①労務管理：2回 マネジメントリフレクション：4回

- ②SWOT分析：2回 看護サービス管理：3回

- マネジメントリフレクション：3回

- 研修の参加人数 ①労務管理：延べ62名 マネジメントリフレクション：延べ53名

- ②SWOT分析：延べ24名 看護サービス管理：延べ21名

マネジメントリフレクション：延べ72名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- 研修の主な内容

日本病院薬剤師会令和元年度がん薬物療法認定薬剤師研修（実地研修、講義研修）

- 研修の期間・実施回数

令和2年1月6日～3月19日・1回

- 研修の参加人数

薬剤師 1名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
管理責任者氏名	病院長 川真田 樹人
管理担当者氏名	副病院長(事務担当) 三澤 剛 総務課長 窪田 修一 経営管理課長 丸山政紀 経営推進課長 犬飼 一範 医事課長 達家 孝男 医療支援課長 古澤 真紀

管 理 方 法	保 管 場 所		
電子化されている諸記録は、電子カルテシステムおよび部門システム内で管理している。 紙媒体の諸記録は、診療録管理室が管理する記録保管庫で管理している。 また診療録の本院外への持ち出しについては、「信州大学医学部附属病院診療録閲覧・貸出要項」により禁止している。	総務課 診療録管理室	病院日誌 各科診療日誌 処方せん 手術記録 看護記録 検査所見記録 エックス線写真 紹介状 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	規則第十二条の三第二項に掲げ
(高度の医療技術の開発及び評価の実績) 電子化されている諸記録は、事務部サーバー内で管理している。 紙媒体の諸記録は、事務部の保管庫で管理している。	総務課 医事課 経営管理課 医学部 総務課 医事課 医事課 薬剤部	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	規則第十二条の三第三項に掲げる規則第一項に掲げる規則第一項の十一第一項に
	医事課 医療安全管理室 医療安全管理室	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	

		保管場所	管 理 方 法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御室	電子化されている記録は感染制御室及び医事課医療安全係のシステム内で管理している。かつ紙媒体でも学内ルールにより5年間保存している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御室	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御室	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御室	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要な未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務課	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	経営管理課	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	経営管理課	
		医療機器の安全使用のために必要な情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	経営管理課	

		保管場所	管理方法
規則第九条の二十の二第一項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
	医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
	医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理室	
	診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療支援課	
	医療安全管理部門の設置状況	医事課	
	高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	総務課	
	未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	総務課	
	監査委員会の設置状況	医事課	
	入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理室	
	他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療支援課	
	医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	大学法人本部	
	職員研修の実施状況	総務課	
	管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務課	
	管理者が有する権限に関する状況	総務課	
	管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務課	
	開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	総務課	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 ② 現状
閲 覧 責 任 者 氏 名	病院長 本田 孝行
閲 覧 担 当 者 氏 名	副病院長(事務担当) 内川 俊行 総務課長 内川 俊行 経営管理課長 常見 和彦 経営推進課長 犬飼 一範 医事課長 丸山 政紀 医療支援課長 達家 孝男
閲 覧 の 求 め に 応 じ る 場 所	総務課
閲 覧 の 手 続 の 概 要	閲覧希望者より申請があった際には、総務課にて記録を閲覧させている。

(注) 既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延 0 件
閲 覧 者 別	医 師 延 0 件
	歯 科 医 師 延 0 件
	国 延 0 件
	地 方 公 共 団 体 延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有
・指針の主な内容： ・医療安全管理に関する基本的な考え方 ・医療安全管理のための組織に関する基本的事項 ・医療安全管理のための職員に対する研修に関する基本方針 ・医療安全管理の確保を目的とした改善の方策に関する基本方針 ・医療事故等発生時の対応に関する基本方針 ・医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本事項（患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針を含む） ・患者からの相談への対応に関する基本方針 ・その他医療安全の推進のために必要な基本方針	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
・設置の有無（有） ・開催状況：年12回 ・活動の主な内容： ・医療事故の防止対策の検討及び推進、並びに再発防止策の提言 ・医療事故防止のための教育及び研修に関する事項 ・死亡例及びインシデント事例の報告状況の確認及び指導 ・医療事故防止マニュアルの改訂 ・各委員会などへの指導と連携（輸血療法委員会、病院情報システム管理委員会、臨床工学部会議、医薬・情報管理室との連絡会議など）	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年14回
・研修の内容(すべて)： ・新採用者医療安全研修：医療安全に関する講義とグループワーク ・部署医療安全管理者研修：部署医療安全管理者の役割に関する講義とグループワーク ・AED を用いた一次救命処置(BLS)研修の講義と実技 ・医療情報管理研修：「改正個人情報保護法と次世代医基盤法」 ・医療安全・感染制御室合同職員研修①：「特定機能病院における医療安全管理について学ぶ」 ・医療安全・感染制御室合同職員研修②：「院内インシデント事例から当院における患者安全について学ぶ」 ・超音波ガイド下中心静脈穿刺研修 ・急変シミュレーション研修：講義、部署での実践演習 ・薬剤管理研修：「薬のインシデント事例を考え、再発防止に取り組もう」 ・医療現場における苦情の発生と対応：「患者さんの声にきちんと耳を傾けていますか？～苦情対応に活かすメティエーションの考え方～」 ・転倒・転落防止研修：各部署でのグループワーク ・医療安全推進週間記念講演：「院内ビックデータ分析による医療の可視化と医療安全」 ・SaftyPlus(E-ラーニング)	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の実施状況	
・医療機関内における事故報告等の整備（有） ・その他の改善の方策の主な内容： ・院内の関連会議での自院及び他病院の事例の紹介（情報共有）による注意喚起 ・各部署での医療安全にかかる改善・対策プランの作成を部署医療安全管理者会議で周知徹底 ・医療安全管理室ニュースによる注意喚起と周知徹底、及び医療安全管理室ホームページでの周知 ・医薬品情報管理室や臨床工学部との連携による安全管理の徹底 ・インシデント報告の中の重要事例について院内ラウンド・現状調査し、必要に応じてワーキンググループを立ち上げ、マニュアルやルールを作成する。（アレルギー・薬剤等情報収集確認プロセスの改善に関するワーキンググループ）	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> * 医療関連感染対策に関する基本的な考え方 * 感染対策委員会の設置 * 医療関連感染対策に関する職員研修 * 医療関連感染発生時の対応 * 医療関連感染対策ガイドライン * 患者等に対する当該指針の閲覧及び情報提供と説明に関する基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> * 抗菌薬使用動向報告 * JANIS検査部門還元情報報告/感染症レポート * 医療関連感染に関する啓発及び職員研修の企画、実施 * 医療関連感染ガイドライン等の改訂についての審議（洗浄・消毒・滅菌ガイドライン、結核ガイドライン、血液・体液曝露発生時の対応、新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン） * アウトブレイク事象についての対応、報告、職員への周知（インフルエンザ、MRSA） * 職業感染対策（血液・体液曝露、結核接触者健診、ワクチン接種プログラム 等）についての実施及び報告 * 医療関連感染サーベイランス（デバイス関連、耐性菌、プロセス 等）についての実施及び報告 * 院内ラウンドの実施及び報告、改善活動報告 * 感染防止対策地域連携加算に基づく相互チェックの実施及び報告 * 新型コロナウイルス感染症の対応 * その他感染管理に関する事項の検討、審議、決定（観血的処置前の感染症検査について、プリオニン病に対する対応、MBL産生菌検出に対する環境調査） 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 10回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて） : <ul style="list-style-type: none"> * 医療関連感染対策に関するオリエンテーション：新規採用者・中途採用者・復帰者 * 職業感染予防策：全職員、委託業者 * 標準予防策：全職員、委託業者 * 外部講師講演会「みんなで取り組む抗菌薬適正使用と支援の実際」：全職員 * 冬の感染症対策：全職員、委託業者 * 咳が長引く感染症：全職員、委託業者 * 研修医クルーズ①「抗菌薬の考え方基礎編」②「抗菌薬の考え方応用編」：研修医はじめ医師 * 排尿ケアチーム研修会「尿路感染症」：全職員 * 臨床検査部の感染対策：臨床検査技師 * 看護部専門コース「インフルエンザとわたし」：看護師 * DVD研修：上記研修の未受講者（年2回参加に満たない職員） 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> * アウトブレイク対応（部署への介入） * ICTラウンド及び環境ラウンドの実施：コンサルテーション、フィードバック、改善報告の確認 * リンクナース会の活動（手指衛生遵守率向上に向けた取り組み） * 職員の血液・体液曝露サーベイランスの実施、情報提供（感染制御室ニュース 等） * 患者又は家族へ感染に関わる情報を提供、共有し、理解を得た上で協力を求める（面会制限） 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 1 回
・ 研修の主な内容 :	
1) 薬剤管理研修「医薬品を安全に使用するために～薬のインシデント事例を考え、再発防止に取り組もう～」 2019/9/10(火)、97名、	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 1) 医薬品の採用・購入手順に基づいた薬事委員会の開催および適正購入の実施 2) 医薬品管理手順に基づいた医薬品の購入および麻薬、向精神薬、毒薬、劇薬、特定生物由来製品等の適正管理の実施 3) 患者に対する安全な医薬品供給のための調剤、交付、過誤防止、薬剤管理指導等の実施 4) 医薬品情報の収集および提供の実施 5) 保険調剤薬局との連携 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例 (あれば) <ul style="list-style-type: none"> 1) 重症アデノウイルス感染症に対するシドフォビア治療 (血液内科) 2) パークロレートを用いた甲状腺機能低下症に対する病型診断の実施 (小児科) 3) 痘瘍のモノクロロ酢酸塗布療法 (皮膚科) ・ その他の改善の方策の主な内容 : <ul style="list-style-type: none"> 1) 医薬品安全管理に係る内容の見直しおよび医薬品安全管理のための業務手順書の改訂と院内への周知徹底 2) 医薬品の安全管理に係る必要研修内容の調査・検討と実施 3) 医薬品の安全使用のための情報提供方法の工夫 <p>(メールによる全職員への配信、電子カルテ初期画面への掲示、院内向け薬剤部ホームページへの掲示、各診療科・病棟への書面により通知している。添付文書内容は、添付文書データベースを月に1回更新し、最新の情報を診療端末にて閲覧可能としている。「医薬品医療機器等安全性情報」については、簡易版を作成し、医療安全管理室ニュースと合わせて配布及び回覧をしている。また、部署医療安全管理会議にて冊子を案内・配布している。)</p> 4) 医薬品情報管理室担当者と医療安全管理室担当者による、定期的(月1回)な連絡会議開催(院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じる) 5) 院内の医薬品副作用報告体制の整備 <p>(電子カルテシステムからの副作用報告を可能とし、周知および薬事委員会、医療安全管理委員会で報告をおこなった。)</p> 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年45回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 新規機器の導入時の研修 特定機能病院に係る医療機器（人工呼吸器、人工心肺及び補助装置、血液浄化装置、除細動器、閉鎖式保育器、放射線治療装置、CTエックス線装置、MRI装置）の研修 AED等必要な機器の研修	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る計画の策定（有）機器ごとの保守点検の主な内容： 年1回を基本とした定期点検 消耗品・定期部品交換、動作確認、漏電チェック等	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医療機器に係る情報の収集の整備（有）未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：	
<ul style="list-style-type: none">その他の改善の方策の主な内容： Webサイトへの掲載 部署リスクマネージャー会議での連絡 研修会でのアンケート結果による研修内容の見直し 納入業者へ納入医療機器の情報提供の依頼	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	
・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、及び医療機器安全管理責任者の統括状況 医療安全管理責任者は副病院長（危機管理担当）が担っており、同時に医療安全管理部門の責任者及び医療安全管理委員長となり、医療の安全に関することを統括管理している。また、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者は、医療安全管理委員会の構成員となり医療安全に関する報告を行っている。	有
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	
③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況	有（3名）
<p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <p>1) 月1回の医薬品情報管理室（医薬品情報室主任、病棟主任、医薬品安全管理者）と医療安全管理室による連絡会議では、院内で発生した医薬品に係るインシデントや院内外より入手した医薬品の安全性情報・適正使用情報について情報交換をし、院内での対応策等について協議し適切な措置を講じている。検討した内容は、医療安全管理委員会で審議したのち、部署医療安全管理者会議で報告、周知している。</p> <p>2) 薬事委員会において、副作用症例報告、医薬品医療機器等安全性情報の周知を行っている。</p> <p>3) 医療安全管理委員会において、副作用症例報告を行っている。</p> <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>1) 審査済みの未承認薬等使用時は、処方・注射オーダーリングからの入力とし、患者限定・医薬品採用願書または薬剤保管依頼書、倫理委員会審査結果通知書を医薬品情報管理室に提出する。処方鑑査時に使用状況の把握を行う。</p> <p>2) 登録状況、使用状況については、薬剤部主任会議（月1回開催）で報告を受けている。</p> <p>・担当者の指名の有無（有） ・担当者の所属・職種： (所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤主任) (所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師) (所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師) (所属：薬剤部医薬品情報室，職種 薬剤師)</p>	
④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	有
・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無（有） ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 : 診療録管理委員会での遵守状況の確認、指導及び医療安全管理委員会との情報共有	
⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主に手術記録、退院時要約、インフォームド・コンセントに関する記録、カウンターサイン実施状況等を日常的に確認し、記載に不備が認められた場合に担当医へ指導を実施。記載が不十分な事例については、診療録管理委員会を通じて、各部署に周知を依頼。 ・卒後臨床研修医入職時のオリエンテーションにおいて、退院時要約等の記載に関する講義を担当。 ・多職種による診療記録の質的監査を年2回実施。監査結果を診療録管理委員会へ報告するとともに主治医へのフィードバックを実施。 	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有
・所属職員：専従（5）名、専任（0）名、兼任（8）名 うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名 うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名	
(注) 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること	
・活動の主な内容：	
・インシデントレポート及び関係者からの事実確認に基づく医療事故等の判定 ・医療事故発生時における記録等の確認及び指導並びに患者家族への対応状況の確認及び指導 ・医療安全相談室からの医療事故の相談内容に関する事項 ・医療の安全管理を推進するための啓発活動に関すること ・医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び改善策の提案に関すること ・肺血栓塞栓症予防策の実施状況及び全死亡例のモニタリングに関すること ・インフォームド・コンセントの適切な実施に関すること ・その他医療の安全管理に係る連絡調整及び医療安全対策の推進に関すること	
※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。	
※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（21件）、及び許可件数（19件） ・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有） ・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有） ・活動の主な内容： ・高難度新規医療技術を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医療技術実施後は、実施状況を確認する。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有） ・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有）	
⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用的適否等を決定する部門の状況	
・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（3件）、及び許可件数（3件） ・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用的適否等を決定する部門の設置の有無（有） ・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用的適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有） ・活動の主な内容： ・未承認新規医薬品等を用いた医療の提供に関する審査申請があった場合は、担当部門においてその提供の適否を審査する。当該医薬品使用時は、薬剤部内で情報共有し、当該病棟薬剤師は副作用の発現等をモニターする。使用後は、使用状況を確認する。 ・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有） ・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有）	
⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況	
・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年314件 ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年132件 ・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容 ・医療安全管理部門に報告された事象の確認 ・適切に報告されているかの確認及び報告が不十分な場合の指導	
⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	
・他の特定機能病院等への立入り（有（病院名：山口大学医学部附属病院））	

- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（有（病院名：大分大学医学部附属病院））
 - ・技術的助言の実施状況
- ①【（Ⅰ）医療安全】画像読影既読処理率をさらに向上させるため、画像・病理報告書確認体制改善WGを立ち上げた。
- ②【（Ⅱ）医薬品】未承認新規医薬品等担当部門のフロー図については、高難度新規医療技術担当部門と共有しているため、同部門と共同して検討することとした。また、適応外に該当する処方の審査体制については、使用の適否を審査する委員会と、その使用の適否等を決定する部門の運用を見直す方向で検討することとした。
- ③【（Ⅲ）高難度】事前相談記録方法等について、検討することとした。また、承認した手術が実施された患者の術後の長期経過を管理する仕組みについては、今後検討することとした。
- ④【（Ⅳ）外部監査】令和2年度から「医療を受ける者」としての委員を本院と関連のない非医療従事者に変更した。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

・（設置状況等）

窓口の名称 医療安全相談室（「医療安全相談室」を窓口に明記）

相談日及び相談時間帯 平日 8:30～17:15（相談依頼者の意向を考慮）

責任者の氏名及び職種 川真田樹人：病院長

対応職員の氏名、部署及び職種 古澤真紀：医療支援課長 寺沢 隆：医療支援課副課長

大木 晃：医療支援課主査 長橋英里：医療支援課係員

規約の整備状況 有 平成26年12月 4日 改正

・（活動状況等）

・患者等への明示方法

各診療科外来、各病棟及び部門等の掲示板で明示

「外来診療案内」及び入院案内「入院のしおり」にて紹介

・相談により患者等が不利益を受けないよう適切な配慮の具体的方策

医療安全相談室（個室）で相談

対応者は客観的・中立的な立場を遵守

相談後の対応は患者等の意向を尊重

・電話、投書箱、インターネット相談の実施など相談窓口以外の相談の受付方法

※電話相談の有無、患者からの意見等の投書箱の設置の有無及び設置場所並びに力所数、

インターネットでの相談の有無を記入のこと。

電話相談 有

投書箱 設置場所：外来棟（5ヶ所）、東西病棟1階から8階、精神科病棟内、

南病棟1階・4階から6階（それぞれ1ヶ所） 計18力所

インターネット相談 無

・解決策及び院内での対応方法

相談事例は病院長へ報告

必要に応じて医療安全管理室会議に報告・審議

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

監査委員会からの意見の表明に関する事項については、研修該当事項がない為、実施なし。

医療法施行規則改正に係る事項については、医療安全管理室主催の研修として実施。

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

(13) 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

院内での研修実施予定は無し。

本田孝行（病院長）、神田博仁（医薬品安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者研修（2回目の受講となる方対象）を2019年10月11日に受講済である。

花岡正幸（医療安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年1月7日に受講済である。

川真田樹人（医療機器安全管理責任者）は、2019年度特定機能病院管理者養成研修（2回目の受講となる方対象）を2020年2月12日に受講済である。

(注) 前年度の実績を記載すること (⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること)

規則第7条の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準

・ 基準の主な内容

人格が高潔で、学識に優れ、かつ、本院における医療の質と安全性を確保し、高度医療の提供及び教育研究活動を適切かつ効果的に運営することができる能力を有する者で、以下の要件を満たす者。

- (1) 医師免許を有している者
- (2) 医療安全確保のために必要な資質・能力を有している者
- (3) 病院の管理運営に必要な資質・能力を有している者
- (4) 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有している者

・ 基準に係る内部規程の公表の有無（有）

・ 公表の方法

本学公式Webサイトに掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無

有

- ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（有）
- ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（有）
- ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（有）
- ・ 公表の方法
本学公式Webサイトに掲載

管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
武田 三男	信州大学	○	学長が指名する理事	無
中山 淳	信州大学		規程に基づく役職指定	無
石塚 修	信州大学		学長が指名する本院診療科長会構成員	無
栗田 浩	信州大学		学長が指名する本院診療科長会構成員	無
大月 良則	長野県健康福祉部		学外の有識者で、長野県健康福祉部長として、地域の医療政策に関する豊富な経験と高い見識を有している者	無
島崎 謙治	政策研究大学院大学		学外の有識者で、政策研究大学院大学教授として、国の医療政策に関する豊富な経験と高い見識を有している者	無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	有		
・合議体の主要な審議内容 信州大学医学部附属病院の運営に関する重要事項を審議する。			
・審議の概要の従業者への周知状況 各診療科長宛に紙媒体にて通知するとともに、電子掲示板にて周知している。			
・合議体に係る内部規程の公表の有無（有）			
・公表の方法 WEBによる公表			
・外部有識者からの意見聴取の有無（無）			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
本田 孝行	○	医師	病院長
川眞田 樹人		医師	副病院長（管理・運営、経営、地域医療担当）
花岡 正幸		医師	副病院長（危機管理担当）
伊藤 寿満子		看護師	副病院長（看護部長）
内川 俊行		医師	副病院長（事務担当）
桑原 宏一郎		医師	
梅村 武司		医師	
中澤 英之		医師	
上條 祐司		医師	
関島 良樹		医師	
下島 恭弘		医師	
駒津 光久		医師	
鷺塚 伸介		医師	病院長補佐（診療、倫理担当）
中沢 洋三		医師	

奥山 隆平		医師	病院長補佐（教育・研究、広報担当）
藤永 康成		医師	
副島 雄二		医師	
瀬戸達一郎		医師	
清水 公裕		医師	
伊藤 研一		医師	
高橋 淳		医師	
堀内 哲吉		医師	
栗田 浩		医師	病院長補佐（施設担当）
石塚 修		医師	病院長補佐（評価担当）
村田 敏規		医師	
宇佐美 真一		医師	
塩沢 丹里		医師	病院長補佐（国際化担当）
杠 俊介		医師	
今村 浩		医師	病院長補佐（災害対策担当）
関口 健二		医師	
堀内 博志		医師	
上原 剛		医師	
濱野 英明		医師	
古庄 知己		医師	
本田 秀夫		医師	
大野 康成		医師	
小泉 知展		医師	
小山 淳一		医師	
山折 大		薬剤師	
多田 剛		医師	

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（有）
 - ・ 公表の方法
WEBによる公表
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長は、病院の管理運営に関する業務を統括する。
 - ・ 副病院長は4人以内とし、そのうち1人は看護部長をもって充て、1人は事務部担当とし、それ以外の副病院長は、病院長が指名する。
 - ・ 病院長補佐は3人以内とし、信州大学医学部附属病院規程の第16条に規定する病院診療科長会の構成員のうちから、病院長が指名する。
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長は、病院長の業務を補佐するとともに、病院長に事故があるときは、病院長があらかじめ指名した副病院長が、その職務を代行する。
 - ・ 病院長補佐は、病院長の求めに応じ、病院の管理運営に関する専門的事項について企画立案するとともに、当面する諸課題その他病院長が必要と認める事項について助言等を行う。
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
 - 川真田樹人（病院長）、神田博仁（医薬品安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者研修（2回目の受講となる方対象）を2020年度中に受講予定である。
 - 塩沢丹里（医療安全管理責任者）、今村浩（医療機器安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者養成研修（初回の受講となる方対象）を2020年度中に受講予定である。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	有
<ul style="list-style-type: none"> ・監査委員会の開催状況：年2回（R1.11.1(金), R2.2.14(金)） ・活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> (1) 医学部附属病院における医療安全管理責任者、医療安全管理室、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務の状況について、病院長等から報告を求め、又は必要に応じて資料の提出、関係者の委員会への出席等を求め確認を行うこと。 (2) 必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明すること。 (3) 第1号及び第2号に掲げる業務について、その結果をホームページで公表すること。 ・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（有） ・委員名簿の公表の有無（有） ・委員の選定理由の公表の有無（有） ・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（無） ・公表の方法： <ul style="list-style-type: none"> 信州大学医学部附属病院のウェブページ上で公開している。 	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
田内 克典	社会医療法人 財団慈泉会相 澤病院 病院長	○	医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
高木 洋行	松本市立病院 名誉院長		医療に係る安全 管理に関する 識見を有する者	無	1
宗村 和広	信州大学経法 学部 教授		法律に関する 識見を有する者	無	1
小西 育子			医療を受ける者	無	2
中山 淳	信州大学 医学部長		医療に関する 学識経験者	有	1

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況
<ul style="list-style-type: none">・ 体制の整備状況及び活動内容 内部監査室において、当該年度の病院を含む各組織の業務に関し、監事による監査と連携し、監査を実施している。・ 専門部署の設置の有無（有）・ 内部規程の整備の有無（有）・ 内部規程の公表の有無（有）・ 公表の方法 WEBによる公表

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に 係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況

・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況

国立大学法人信州大学病院業務監督委員会を設置し、次に掲げる事項について、点検・監督を行う。

- (1) 経営状況に関すること。
- (2) 予算及び決算に関すること。
- (3) 中期目標・中期計画及び年度計画に関すること。
- (4) 人事計画に関すること。
- (5) 学長が必要と認めた事項に関すること。
- (6) その他病院の管理運営に関する重要事項に関すること。

・ 会議体の実施状況（年6回）

・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（有）（年6回）

・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（有）

・ 公表の方法 WEBによる公表

病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：国立大学法人信州大学病院業務監督委員会

会議体の委員名簿

氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
濱田 州博	学長	○	無
川真田 樹人	医学部附属病院長		有
花岡 正幸	副病院長（経営担当）		有
伊藤 寿満子	副病院長（看護部長）		有
三澤 剛	副病院長（事務担当）		有
武田 三男	理事（経営企画、総務、情報担当）		無
小宮山 啓太郎	理事（財務、環境施設担当）		無
樋口 聰	副学長（特命戦略担当）		無
中山 淳	医学部長		有
本田 孝行	医学部 教授		有
金井 康雄	経営企画部長		無
古橋 良幸	総務部長		無
南 博徳	財務部長		無
大江 信浩	環境施設部長		無
清澤 研道	相澤病院		無
西垣 明子	長野県健康福祉部		無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合
等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有）・通報件数（年0件）・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無（有）・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有）・周知の方法：医療安全管理マニュアル、病院オールメール（年2回）、業務端末に掲載

(様式第7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 日本医療機能評価機構 平成26年2月審査 平成26年5月評価の認定（更新） 日本医療機能評価機構 令和元年6月審査 令和元年評価の認定（更新）	
(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。	

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有
・情報発信の方法、内容等の概要 病院や各診療部署にホームページを公開し、様々な情報を発信している。 地域住民などを対象とする市民公開講座や研修会を毎年開催している。 大学医学部に設置された地域保健推進センターと連携して、地域住民を対象とした研修や、啓発活動を行っている。	

3 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有
・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要 信州がんセンターは、化学療法、放射線治療および緩和医療の専門医を終結し、集学的かつ臓器横断的にがん診療をおこなっている。また信州がんセンターが中心となって、月に1回がん診療に携わる各診療科医師や医療スタッフが参考しキャンサーサポートを実施している。先端心臓血管病センターおよび呼吸器センターは、それぞれ内科、外科が連携して先端医療を提供している。 胸痛センターは、高度救命救急センターと心臓血管外科が連携して循環器救急医療を提供している。	

(様式第8)

信大病総 第1095号
令和2年10月20日

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法人信州大学長 濱田 州

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修、管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

川真田樹人（病院長）、神田博仁（医薬品安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者研修（2回目の受講となる方対象）を2020年度中に受講予定である。

塩沢丹里（医療安全管理責任者）、今村浩（医療機器安全管理責任者）は、2020年度特定機能病院管理者養成研修（初回の受講となる方対象）を2020年度中に受講予定である。

2. 医療安全管理部門の人員体制

- ・所属職員：専従（5）名、専任（0）名、兼任（8）名
 - うち医師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（6）名
 - うち薬剤師：専従（1）名、専任（0）名、兼任（0）名
 - うち看護師：専従（2）名、専任（0）名、兼任（1）名

3. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

今後、医療安全管理部門に技師等の専従職員の配置を検討する。